

【事前送付資料】

戸田市第5次総合振興計画後期基本計画 協働会議

《第5回資料》

【目次】

1. 『戸田市第5次総合振興計画後期基本計画協働会議』とは【おさらい】・・・2
2. 話し合いの進め方【おさらい】・・・・・・・・・・・・・・4
3. 第5回協働会議のプログラム・・・・・・・・・・・・・・5
4. 第5回協働会議のディスカッションの進め方・・・・・・・・6
5. 参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

令和7年1月

1. 『戸田市第5次総合振興計画後期基本計画協働会議』とは 【おさらい】

(1) 趣旨と目的

- 戸田市では、市政運営の基本指針となる『戸田市第5次総合振興計画 後期基本計画』を令和7年度末までに策定する予定です。策定に当たっては、様々な手法を用い、市民の皆様から御意見をいただきながら計画づくりを進めることとしています。
- 協働会議は、協働によるまちづくりをテーマに、市民・議会・行政が一堂に会し、戸田市の将来を見据えた意見交換を行う場として、市が企画・運営する会議です。
- 公募市民・団体推薦市民・市議会議員・市職員など31名で構成され、未来のまちづくりの方向性について話し合い、その結果を市長に提言することになります。

『総合振興計画』とは？



市政運営の指針として、市の最上位に位置づけられる計画です。市の将来像や未来のまちづくりの方向性、重点的に取り組むべきこと等について示すものであり、市民の皆さまと共有し、ともに『わがまち・戸田』をつくり上げていくための指針ともなる重要な計画です。

- 市の計画策定スケジュールとの関連は、以下のとおりです。

| 年度 | 2024 | | | | | 2025 | | | | | | 2026 | | | | | | | | | |
|-----|------|---|----|----|----|------|---|---|---|---|---|------|---|---|----|----|----|---|---|---|--|
| 月 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
| 市民等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 戸田市 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

協働会議

意識調査

パブリック
コメント

提言

基礎調査

総合振興計画（後期基本計画）の検討

計画
確定

(2) 協働会議のスケジュール

- 協働会議は全 6 回で、開催日程は以下のとおりです。また、提言書提出式は、令和 7 年 3 月に予定をしております。
- 会議は原則公開とし、記録作成のため写真撮影及び録音を行います。予めご承知おきください。

| | 日時 | 協議内容など | |
|------------|---------------------------------|--|--------------|
| 第 1 回 | 9月19日(木) 18:30-21:00 | 委嘱状交付式、オリエンテーション テーブルディスカッション ・『ここ 5 年間で戸田市の良くなったところ・そうでないところ』 | 済 |
| 第 2 回 | 10月24日(木) 19:00-21:00 | オリエンテーション、分科会ワークショップ ・『戸田市の現状・問題と課題』テーマ 分科会発表・全体意見交換 | 済 |
| 第 3 回 | 11月19日(火) 19:00-21:00 | オリエンテーション、分科会ワークショップ ・『今後 5 年間の目指すべき姿』テーマ ・『目指すべき姿を実現するための取り組み』テーマ 分科会発表・全体意見交換 | 済 |
| 第 4 回 | 12月19日(木) 19:00-21:00 | オリエンテーション、分科会ワークショップ ・『今後 5 年間の目指すべき姿』テーマ ・『目指すべき姿を実現するための取り組み』テーマ 分科会発表・全体意見交換 | 済 |
| 第 5 回 | 令和7年 1月16日(木) 19:00-21:00 | オリエンテーション、分科会ワークショップ ・『提言書(素案)の確認と修正』 ・『市民・議会・行政の役割分担』 | 済 今回はここです |
| 第 6 回 | 2月12日(水) 19:00-21:00 | オリエンテーション、分科会ワークショップ ・『提言書(案)の最終確認』 分科会発表・全体意見交換 総括(フリートーク) | |
| 提言書 提出式 | 3月(予定) | 市長に提言書を提出 | |

2. 話し合いの進め方 【おさらい】

(1) ファシリテーター（進行役）について

- 分科会メンバーからファシリテーター（進行役）を1名決めて、話し合いを進行します。

(2) 話し合いに当たって

話し合いのルール

- 公平に、建設的に話し合いましょう。
他の人の意見を遮ったり、感情的に否定したり、特定の個人などを批判することなく、お互いの意見を尊重し、違いを明確にしたうえで、公平に、建設的に話し合いましょう。
- 広い視野で話し合いましょう。
特定の個人、団体や地域の利益につながるのではなく、戸田市の望ましい未来を考え、そのために生かしていきたい強みは何か？といった視点から、市の全体を見渡しながら話し合いましょう。

わからないことがあったら

- 事務局がサポートします。
協働会議は、参加者の皆さまで話し合った意見などを、今後の戸田市のまちづくりに役立てていくための会議です。
「市役所の取組をよく知らない」や「自分が何を話したらよいかわからない」などとお考えになるかも知れませんが、日ごろの生活の中で印象に残っていることや感じていることで構いませんので、積極的にお話してください。

ワークショップの記録

- 各回の記録を作成し、次回にお示しします。
話し合った内容や、模造紙に貼り出した意見は、事務局がとりまとめて、次回にお示しします。（その際、字句の修正や若干の補足などをさせていただきます。）
- 前回の記録を確認しながら、話し合いを進めます。
毎回、前回話し合われたことの「おさらい」をしながら、話し合いを進めます。記録を見ながら、「大事な意見」「少数意見だったが残したい意見」なども確認した上で、話し合いを進めていきます。

3. 第5回協働会議のプログラム

- 分科会に分かれて、テーマ の『提言書（素案）の確認と修正』及び『市民・議会・行政の役割分担』について、話し合いを行います。
- 限られた時間での意見交換になりますので、御意見などをあらかじめ準備くださいますようお願いいたします。
- 事前に確認していただきたい内容は、6ページをご覧ください。

| 時間（目安） | 内 容 |
|-----------------|--|
| 18:30～ | 受付（所属の分科会テーブルに御着席ください） |
| 19:00～ 19:10 | （1）開会 （2）オリエンテーション ➤ 本日の進め方や事前に配布した資料などを説明します。 |
| 19:10～ 19:50 | （3）分科会ディスカッション ➤ ファシリテーター（進行役）発表者を決めていただきます。 ・『 <u>提言書（素案）の確認と修正</u> 』テーマ ・『 <u>市民・議会・行政の役割分担</u> 』テーマ ディスカッションの進め方は、次のページをご覧ください。 |
| 19:50～ 19:55 | 休憩 |
| 19:55～ 20:35 | （3）分科会ディスカッション ・『 <u>提言書（素案）の確認と修正</u> 』テーマ ・『 <u>市民・議会・行政の役割分担</u> 』テーマ |
| 20:35～ 20:55 | （4）発表 ➤ 分科会で話し合った内容について、発表します。 ➤ 発表後に、全体で意見交換を行います。 |
| 20:55～ 21:00 | （5）事務連絡、閉会 |

4. 第5回協働会議のディスカッションの進め方

- ディスカッションは、以下の進め方で行います。
- **第4回までに話し合った内容を基に作成した『提言書(素案)』の確認と修正を行います。**

【事前に確認していただきたいこと】

**分科会で担当する分野については、提言書(素案)の記載内容を事前に
ご一読くださいますようお願いいたします。**

【ディスカッションの進め方】

別添1「提言書(素案)分科会別」を使い、テーマ・について話し合います。

(1) 提言書(素案)の確認

【やること】

提言書(素案)にある【確認事項】の検討結果を「分科会〇」コメント欄に記入します。

「それぞれの取組」欄の空欄部分について、追加があれば、その結果をコメント欄に記入します。イメージ図では、【議会】取組欄を検討するものです。

そのほかにも、言書(素案)の記載内容について、追加・修正があれば、その結果をコメント欄に記入します。

【提言書(素案)】のイメージ図

3 テーマの各分野における提言内容

(1) 子育て支援

①現状と課題

- 保育園の整備が進められ、希望する保育園に入りやすい状況となっている。
- 慢性的な保育士不足の状態にあり、保育士の確保とともに質の向上も求められている。
- 子育て世帯の支援として、保育料(0~2歳児)の無償化などの経済的な負担軽減策が求められている。

②今後、5年間の目指すべき姿

- 子育て世帯が安心して子どもを預け、仕事も充実させることができるよう、保育の安全性や利便性が一層高められた環境が整備されている状態。さらには、子育てしやすいまちとして、保育需要の高い都内在勤の子育て世帯の定住促進につなげていく。
- 親が休んで子どもを看護する環境づくりを大事にしつつ、病児保育など、困った時に安心して利用できる環境が整備されている状態。

③目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|-------|---|
| 協働の取組 | 【市民×行政】 ・病児保育などの受入施設の増加、受入施設が相談できる医療機関の確保、医療機関との連携による流行り病の情報提供や共有 |
| それぞれ | 市民 ・共働き世帯が多いことから、企業やマンション事業者が、企業内、マンション内保育園といった利便性の高い保育施設の設置を進めることで、子育てしやすいと感じる市民の増加につなげる。 |
| の取組 | 行政 ・保育や子育てに係る市内企業の優良取組事例を紹介、横展開することで、働きやすい環境の整備を進める企業を後押しする。 ・安心して預けられる保育環境を維持するため、保育士人材の確保を進める。 ・保育施設の確保にあたっては、企業内、マンション内保育園の設置について、企業やマンション事業者に要請する。 |

事務局
【確認事項①】
地域での子育てなど、「保育」以外の内容について、追加はありますか？(施策1関係)

分科会A

事務局
【確認事項②】
地域での子育てなど、「保育」以外の内容について、追加はありますか？(施策1関係)

分科会A

事務局
【役割分担の検討】
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

分科会A
【役割分担(議会)】

事務局
【確認事項③】
保育士人材の確保について、具体的な手法などはありませんか？

分科会A

- 各分科会編成は、以下の通りです。

| 分科会 | 基本目標 | 分野 |
|-----|------|----------------------------------|
| A | 基本目標 | テーマ：子育て支援、児童・青少年育成、学校教育 |
| | 基本目標 | テーマ：消防・救急、防災、防犯、市民相談・消費生活、河川・水路 |
| B | 基本目標 | テーマ：医療、健康づくり、地域における支え合い |
| | 基本目標 | テーマ：高齢者福祉、社会保障、障がい者（児）福祉 |
| C | 基本目標 | テーマ：市街地整備・景観、住宅、上下水道、公共交通、道路 |
| | 基本目標 | テーマ：生涯学習、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション |
| D | 基本目標 | テーマ：緑地・緑化・水辺、公園、地球環境保全、廃棄物・リサイクル |
| | 基本目標 | テーマ：起業・就労支援、産業振興、観光振興、協働・交流 |

分科会【C】テーマ「道路」は、基本目標 になりますが、分科会【C】で担当します。

- 基本目標・分野・施策の対応表は、以下の通りです。

【参考】基本目標・分野・施策の対応表

| 基本目標 | 分野 | 施策名称 | 冊子の 該当ページ |
|----------------------------------|---------------|--------------------------------|-------------------|
| 基本目標 子どもが健やかに育ち いきいきと輝けるまち | 子育て支援 | (1) 子育て支援の充実 | 48 |
| | | (2) 乳幼児期の保育・教育の充実 | 50 |
| | 児童・青少年育成 | (3) 児童・青少年の育成環境の充実 | 52 |
| | | 学校教育 | (4) 世界で活躍できる人間の育成 |
| 基本目標 創造性や豊かな心を 育むまち | 生涯学習 | (5) 生涯学習活動の推進 | 58 |
| | 芸術・文化 | (6) 芸術文化活動の推進 | 60 |
| | スポーツ・レクリエーション | (7) スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実 | 62 |
| 基本目標 共に生き、支えあい 安心して暮らせるまち | 医療 | (8) 地域医療体制の強化 | 66 |
| | 健康づくり | (9) 健康づくり支援の充実 | 68 |
| | 地域における支え合い | (10) 地域福祉の推進 | 70 |
| | 高齢者福祉 | (11) 高齢者福祉環境の整備・充実 | 72 |
| | 社会保障 | (12) 国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の円滑な運営 | 74 |
| | | (13) 生活困窮者支援の充実 | 76 |
| | 障がい者（児）福祉 | (14) 障がい福祉環境の整備・充実 | 78 |
| 基本目標 安全な暮らしを守るまち | 消防・救急 | (15) 消防・救急体制の強化 | 82 |
| | 防災 | (16) 地域防災力・危機管理体制の充実・強化 | 84 |
| | 防犯 | (17) 防犯体制の強化 | 86 |
| | 市民相談・消費生活 | (18) 市民相談機能と消費生活の充実 | 88 |
| | 河川・水路 | (19) 浸水対策の推進 | 90 |
| | 道路 | (20) 安全な道路環境の整備・推進 | 92 |
| 基本目標 快適に過ごせる生活基盤 が整備されたまち | 市街地整備・景観 | (21) 快適で秩序ある美しい市街地の形成 | 96 |
| | 住宅 | (22) 安心して生活できる住環境の充実 | 98 |
| | 上下水道 | (23) 上下水道事業の効率的な運営・施設の充実 | 100 |
| | 公共交通 | (24) 公共交通が利用しやすい環境の整備・推進 | 102 |
| 基本目標 都市環境と自然環境が 調和したまち | 緑地・緑化・水辺 | (25) 自然に親しむ空間の整備・推進 | 106 |
| | 公園 | (26) 魅力ある公園づくり | 108 |
| | 地球環境保全 | (27) 生活環境の保全 | 110 |
| | 廃棄物・リサイクル | (28) 環境衛生の充実 | 112 |
| 基本目標 活力にあふれ人が集い 心ふれあうまち | 起業・就労支援 | (29) 多様な働き方への支援・充実 | 116 |
| | 産業振興 | (30) 産業振興の推進 | 118 |
| | 観光振興 | (31) 地域資源を活用した観光振興の推進 | 120 |
| | 協働・交流 | (32) 市民活動の活性化と地域交流の促進 | 122 |

提言書(素案) 分科会Aテーマ

基本目標 子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち

1 目指すべき姿

地域全体で子育てを支えるという理念を大切に、子育て支援に積極的に取り組む市として、安心して子どもを産み、楽しく育てることができ、全ての子どもがすくすくと成長する環境づくりを目指します。

また、安全に健やかに過ごせる環境の中で、これからの社会の在り方を見据えた特色ある教育を展開し、子どもたちが未来の創り手となるための力を育むことを目指します。

2 テーマ【子育て支援、児童・青少年育成、学校教育】

3 テーマの各分野における提言内容

(1) 子育て支援

現状と課題

- 保育園の整備が進められ、希望する保育園に入りやすい状況となっている。
- 慢性的な保育士不足の状態にあり、保育士の確保とともに質の向上も求められている。
- 子育て世帯の支援として、保育料(0～2歳児)の無償化などの経済的な負担軽減策が求められている。
- []

今後、5年間の目指すべき姿

- 子育て世帯が安心して子どもを預け、仕事も充実させることができるよう、保育の安全性や利便性が一層高められた環境が整備されている状態。さらには、子育てしやすいまちとして、保育需要の高い都内在勤の子育て世帯の定住促進につなげていく。
- 親が休んで子どもを看護する環境づくりを大事にしつつ、病児保育など、困った時に安心して利用できる環境が整備されている状態
- []

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|---------|---|
| 協働の取組 | 【市民×行政】 ・病児保育などの受入施設の増加、受入施設が相談できる医療機関の確保、医療機関との連携による流行り病の情報提供や共有 |
| それぞれの取組 | 市民 ・共働き世帯が多いことから、企業やマンション事業者が、企業内、マンション内保育園といった利便性の高い保育施設の設置を進めることで、子育てしやすいと感じる市民の増加につなげる。 |
| | 議会 ・ [] |
| | 行政 ・保育や子育てに係る市内企業の優良取組事例を紹介、横展開することで、働きやすい環境の整備を進める企業を後押しする。 ・安心して預けられる保育環境を維持するため、保育士人材の確保を進める。 ・保育施設の確保にあたっては、企業内、マンション内保育園の設置について、企業やマンション事業者に要請する。 |

コメントの追加 [戸田市1]: **【確認事項】**
地域での子育てなど、「保育」以外の内容について、追加はありますか？(施策1関係)

コメントの追加 [分科会A2R1]:

コメントの追加 [戸田市3]: **【確認事項】**
地域での子育てなど、「保育」以外の内容について、追加はありますか？(施策1関係)

コメントの追加 [分科会A4R3]:

コメントの追加 [戸田市5]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会A6]: **【役割分担(議会)】**

コメントの追加 [戸田市7]: **【確認事項】**
保育士人材の確保について、具体的な手法などはありませんか？

コメントの追加 [分科会A8R7]:

(2) 児童・青少年育成

現状と課題

- 学童保育の待機児童0を目指すとともに、公立学童保育の充実と民間学童保育の質向上が求められている。
- 学校に通い始めると、家庭外での時間が増え、学童やクラブなどの放課後の活動とそこでの大人の関わり方がこどもの成長に与える影響は大きい。
- こどもが安全で安心して過ごせるあそび場、例えば、ボール遊びなど、こどもがやりたいと思う遊びができる場所や機会がもっと必要である。
- 学校が子ども会に求める役割は多いものの、加入者は減少し加入率は3割程度しかおらず、異年齢交流などの活動機会が少なくなっている。

今後、5年間の目指すべき姿

- 子ども会をはじめ、学童保育や放課後子どもクラブ等、こどもの受け入れ先の選択肢が豊富で、活動が充実している状態
- いろいろな人との関わる中で、こどもの成長につながるよう、それぞれの居場所において、人材が充実している状態
- 児童センターやそれぞれの居場所が連携しながら、利用者のニーズをつかんだワクワクするような遊びや各団体の活動が充実している状態

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 | |
|---------|--|--|
| 協働の取組 | 【市民×行政】 ・新たな受入先の確保などにより、こどもの受入先の選択肢を増やす。 ・連携した活動を行っている市内企業(SDGsパートナー企業など)と各団体をマッチングすることで、活動の幅を広げていく。 | |
| それぞれの取組 | 市民 | ・ |
| | 議会 | ・ |
| | 行政 | ・放課後子ども教室などの人材不足の対応策として、余剰時間のある、学生や定年後人材を活用する。地域での社会活動の機会を持つことができるほか、定年後人材はこれまでの経験を活かして活躍することで、セカンドライフの充実につながる。 ・興味がある遊びなど、こどものニーズを把握する。Web、無記名回答や意見募集の方法自体をこどもから募集するなど、効果的に回答してもらえる方法で行っていく。 |

コメントの追加 [伊田市9]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会A10]: **【役割分担（市民）】**

コメントの追加 [分科会A11]: **【役割分担（議会）】**

(3) 学校教育

現状と課題

- 地域や個人差、経済状況や外国をルーツに持つことなどに関係なく、1人ひとりの個性を伸ばし、自己肯定感を高めていく教育環境と学力の向上が必要である。
- タブレット端末を活用したICT教育が進んでいる一方で、アナログ学習とのバランスも重要である。
- 教員の業務負担の増加や教員不足などにより、児童生徒と向き合う時間の減少につながらないよう、教員を取り巻く環境の整備が必要である。

今後、5年間の目指すべき姿

- 個性を伸ばし、自己肯定感を高め、1人ひとりの希望の実現につながる教育が充実している状態。特に中学生においては、多様な進路がある中で、自身の個性を活かすなど希望する進路に進めるような環境が整備されている状態

- 地域人材や企業の連携活用など、今以上に教員が担う役割に注力できるよう教員が充実し、働きやすい環境が整備されている状態
- 学校におけるICTを普及、活用する中で、ITリテラシーやアナログの大切さも身に付けつつ、教員と児童生徒のコミュニケーションや関係性を育む環境が整備されている状態

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | | 内容 |
|---------|----|---|
| 協働の取組 | | <p>【市民×行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内には多様な地域人材(企業、個人)がいることから、生徒たちが社会の様々な分野に興味を持ち、可能性を広げるきっかけ作りとして、これらの地域人材を活用する。また、必要に応じて教員の人手不足の解消にもつなげていく。 ・町探検など、様々な場所や人と直接関わる体験型授業やアナログの大切さを伝える取組を行う。 |
| それぞれの取組 | 市民 | |
| | 議会 | |
| | 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、自己肯定感や将来について明るい見通しがあるか等の現状把握が必要であることから、アンケートを実施する。(アンケートの結果を踏まえ、それらを向上させる取組を検討する。) ・熟練度別教育を行うことで、生徒はより効果の高い学習を行うことができ、教師も教えやすい環境が構築される。 |

コメントの追加 [伊田市12]: **【役割分担の検討】**
 役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会A13]: **【役割分担(市民)】**
 ・

コメントの追加 [分科会A14]: **【役割分担(議会)】**
 ・

提言書(素案) 分科会Bテーマ

基本目標 共に生き、支えあい、安心して暮らせるまち

1 目指すべき姿

地域医療や健康づくり体制などの充実を進めることで、市民が健康で元気に暮らせるまちを目指します。

また、地域における多様な主体の連携と市民相互の支え合いを基本としながら、的確に福祉サービスを提供することにより、高齢者や障がい者など、支援を必要とする人々が、その人らしく安心して暮らせるまちを目指します。

2 テーマ【医療、健康づくり、地域における支え合い】

3 テーマの各分野における提言内容

(1) 医療

現状と課題

- 高齢化が進む中、在宅看護や地域医療のニーズが高まっている一方、笹目地区や美女木地区は、他の地区に比べて医療機関が少ないなど、地域医療体制の強化が必要である。また、インターネット等での情報収集が難しい方などへの支援が重要である。

今後、5年間の目指すべき姿

- 住んでいる地域に関わらず、必要な時に適切な医療を安心して受けられる体制が構築されている状態

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|-------------|---|
| 協働の取組 | <u>【市民×行政】</u> ・地域包括ケアシステムなど、介護・福祉・障害の施設と地域医療(医師会)との連携を強め、一体的な支援が行える体制を構築する。 |
| それぞれ の取組 | 市民 ・1人では起き上がれない方や外出が困難な方への支援の際、有償ボランティアなど、空き時間に働きたい方を活用していく。 |
| | 議会 行政 ・インターネットが得意でない、使えない方なども簡単に医療機関情報を手にすることができるよう、周知を強化する。 ・あいパルなどの公共施設を活用した地域に出向いた定期的な巡回診療などについて検討する。 |

コメントの追加 [戸田市1]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会B2]: **【役割分担(議会)】**

(2) 健康づくり

現状と課題

- 健康意識が高くない人、仕事や体調など、健康づくりの活動に参加できない人に対するアプローチが必要である。
- 運動習慣のない人の割合の増加や単身高齢者の増加など、運動や外出頻度が低下する中、健康づくりとしての外出や社会参加が重要になっている。

今後、5年間の目指すべき姿

- 日々の生活における様々な行動が健康づくりにつながっていくことで、市民全体の健康意識を高め、住むだけで健康になるまちを目指していく。

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|--------------|--|
| 協働の取組 | <p>【市民×行政】</p> <p>・行くだけで「健康づくり」について考えられる公共施設や、「食の健康づくり」を応援するお店を増やすなど、「地域ぐるみの健康づくり」を進めていく。</p> |
| それぞれ の取組 | <p>市民</p> <p>・ウォーキングコースの紹介やイベント参加など、ウォークアブルなまちづくりに参画し、新たな賑わいを生み出していく。</p> |
| | <p>行政</p> <p>・市内散策コースや地図作成による歩きたくなるような空間づくりなど、ウォークアブルなまちづくりを進めていく。 ・健康づくりアプリを利用したインセンティブ付与により、食べ物や賞品がもらえて「おいしく健康管理」ができる取組を進めていく。</p> |

コメントの追加 [伊田市3]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会B4]: **【役割分担（議会）】**

(3) 地域における支え合い

現状と課題

- 転出入者や仕事で日中不在の世帯も多い。さらには、地域行事の参加や近所付き合いの減少などにより高齢者と子ども・若者が交流する機会も減少している。
- 民生委員などの地域福祉の活動に対するハードルが高く、成り手が少ない。また、次世代の担い手育成も重要である。

今後、5年間の目指すべき姿

- 世代間の交流を通して、将来を担う世代とスキル・知識・経験を分かち合う機会を増やしていくことで、信頼関係を育み、子ども・若者と高齢者の繋がりがあまるまちを目指していく。

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|--------------|--|
| 協働の取組 | <p>【議会×行政】</p> <p>・議会は様々なニーズを捉え、つなぐ存在となり、行政はそれを集約し、重層的な連携を図る仕組みをつくる。</p> <p>【市民×行政】</p> <p>・地域ごとや市のイベントを巡りつつ、民生委員などの活動を周知していく。</p> |
| それぞれ の取組 | <p>市民</p> <p>・PTA など含め、これまでと同じ仕組みでは対応が困難になるため、コミュニティを重層的につなげていく仕組みが求められる。特に各団体のリーダー達がつながる仕組みを検討する。</p> |
| | <p>行政</p> <p>・民生委員など地域福祉の活動について、知る機会を増やしていく。</p> |

コメントの追加 [伊田市5]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会B6]: **【役割分担（議会）】**

提言書(素案) 分科会Cテーマ

基本目標 快適に過ごせる生活基盤が整備されたまち

1 目指すべき姿

都市基盤の整備を推進するとともに、景観の調和やライフラインの整備、公共交通の更なる利便性の向上などにより、市民生活の快適性の確保を目指します。

2 テーマ【市街地整備・景観、住宅、上下水道、公共交通】

3 テーマの各分野における提言内容

(1) 市街地整備・景観

現状と課題

- 市内駅の東西の出入口で景観が異なっていたり、新曽地区では区画整理事業の長期化により景観が良くない状態が続いている。
- 駅周辺が整備されてにぎわいがある。
- 新曽南地域やJR線路横の歩道等で街灯が少なく暗いため、歩きにくく、防犯等の安全面でも心配である。

今後、5年間の目指すべき姿

- 駅を中心とした賑わいと活気に溢れ、美しい景観が広がったまち
- 安心して暮らせる快適で秩序あるまちが実現した状態
(快適で秩序あるまち = 照明灯やバリアフリー推進、まちづくりの進捗情報取得)

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 | |
|---------|--|--|
| 協働の取組 | [市民×行政] ・綺麗な駅前の有効活用により、戸田駅西口駅前や北戸田駅でイベントを実施し賑わい創出事業を行う。 | |
| それぞれの取組 | 市民 ・工事看板等でQRコードを読み取りできるようにすることで、まちづくりの情報をタイムリーに取得できるようにする。 | |
| | 議会 | |
| | 行政 ・SNS等を活用し、区画整理事業やまちづくりの状況について、市の広報として情報発信していく。(良好な景観や市街地の活気の情報提供) ・区画整理事業の計画的な推進と街灯の設置(快適で秩序あるまちの実現に向け) | |

コメントの追加 [事務局1]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会C2]: **【役割分担(議会)】**
.

コメントの追加 [事務局3]: **【確認事項】**
それらを実現するためには、**具体的に行政のどのような取組が必要でしょうか。**(施策2.1関係)

(2) 住宅

現状と課題

- 駅周辺はマンションが多く、特にワンルームマンションが多く、管理状態もマンションにより様々であることから、周辺環境の悪化が心配である。
- 管理の悪いマンションの老朽化対策が課題となっている。
- ワンルームマンションの増加に伴う、地域コミュニティの希薄化が加速している。(住みにくさ)

今後、5年間の目指すべき姿

- マンションや一戸建て住宅等においても誰もが安心して住み続けられるまち
- 多様な世帯の快適性を担保するため、マンションや一戸建て住宅等の管理に市が関与できる仕組みがある状態

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|--------------|--|
| 協働の取組 | [市民×行政] ・マンション管理のメルマガ周知やマンション管理士の相談会の活用について、積極的な周知活動を行う。 |
| それぞれの取組 | 市民 ・地域コミュニティ強化を図るため、マンション共用スペース等を有効活用しながらマンションに住んでいる方でイベント等を実施する。 |
| | 議会 . |
| | 行政 ・マンションの管理度合いが分かる指標等をデータベース化し、一定の築年数が経過したら、行政が介入した指導等も検討する。 |

コメントの追加 [事務局4]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会C5]: **【役割分担（議会）】**
.

(3) 上下水道

現状と課題

- 他の自治体に比べ水道料金が安い
- 新曽地域の下水道整備が遅れている

今後、5年間の目指すべき姿

- 快適な生活維持のために上下水道が100%完備されたまち

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|--------------|---|
| 協働の取組 | [市民×議会×行政] |
| それぞれの取組 | 市民 . |
| | 議会 . |
| | 行政 ・下水道整備100%を目指して施工を進める。 ・下水道料金が上昇しないよう、計画的な維持管理を行う。 |

コメントの追加 [事務局6]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会C7]: **【役割分担（市民）】**
.

コメントの追加 [分科会C8]: **【役割分担（議会）】**
.

(4) 公共交通

現状と課題

- 東西のアクセスが良くなく、特に美笹地区の交通利便性が悪いことから一部地域の循環の見直しが必要であると考える。
- バス路線が減少しており、路線バスの維持が課題である
- **自転車等が乗れない世代に向けた新たな公共交通導入の検討が必要であると考える。**

今後、5年間の目指すべき姿

- **新たな公共交通の導入や路線バスの可能な限りの維持により、移動の快適性が担保され、誰もが利用しやすい公共交通が維持されたまち。**

コメントの追加 [事務局9]: **【確認事項】**
新たな公共交通導入が必要であると考えた際の、それらを利用するターゲット層はどこになりますでしょうか？
(例えば、高齢者や自転車に乗れない層など)

コメントの追加 [事務局10]: **【確認事項】**
誰もが利用しやすいという観点で、「路線バス維持」と「新たな公共交通導入」を2本柱としていますが、過不足はございませんでしょうか？

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | | 内容 |
|-------------|----|---|
| 協働の取組 | | <p>[市民×行政]</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通手段を必要としている人の情報を把握し、ライドシェアが可能となる仕組みづくり) 新たな公共交通手段の実証実験を行い、効果測定を行った上で導入を検討していく。 |
| それぞれ の取組 | 市民 | |
| | 議会 | |
| | 行政 | <ul style="list-style-type: none"> 人手不足に悩むバス会社に対し、大型二種の免許補助等、バス運転手等の待遇改善に向けた取組を行う。 |

コメントの追加 [事務局11]: **【役割分担の検討】**
 役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会C12]: **【役割分担（市民）】**
 .

コメントの追加 [分科会C13]: **【役割分担（議会）】**
 .

(5) 道路 最終的に、基本目標 の方に組み込みます。

現状と課題

- 歩道が狭く見づらい場所がある
- バリアフリーにならない道路・歩道
- 自転車道路を使わないマナーの悪さ
- 植樹帯の管理が悪く、道路の視認性が悪くなることから剪定の頻度を増やす必要がある。
- 一部地域で道路が冠水する。

今後、5年間の目指すべき姿

- 歩行者が守られる歩行者ファーストを第一に、きめ細やかな配慮がされた歩行者に優しい道路があるまち
- 災害時の冠水等に負けない道路があるまち
- 植樹帯や街路樹等が適切に管理された視認性の良い道路があるまち

コメントの追加 [事務局14]: **【確認事項】**
 歩行者として歩道が認識しづらいのか、あるいは運転手等の立場からの歩道の視認性が悪く事故につながりかねないかということかどちらの意味合いが大きいですでしょうか？（施策2.0関係）

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | | 内容 |
|-------------|----|---|
| 協働の取組 | | <p>[市民×行政]</p> <ul style="list-style-type: none"> 植栽の剪定等の維持管理については、市民の協力も仰ぎながら、地域全体を整えていく。 植樹帯の適切な管理に加え、トレードマークを作り、AI等の新規技術も活用し、景観を楽しみながら歩いている楽しいウォークアブルな街づくりで、地域に愛着を持ってもらう |
| それぞれ の取組 | 市民 | |
| | 議会 | |
| | 行政 | <ul style="list-style-type: none"> 歩行者ファーストの考え方に基づいて歩道整備を行う。 道路下の空いた空間に雨水貯留槽の整備を行う。 |

コメントの追加 [事務局15]: **【役割分担の検討】**
 役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [事務局16]: **【確認事項】**
 道路の安全性の確保に加え、道路整備からも美しいまちづくりにつなげるという2つの目的が果たせると解釈でよろしいでしょうか？（施策2.0（安全な道路環境）及び2.1（美しい市街地形成）関係）

コメントの追加 [分科会C17]: **【役割分担（市民）】**
 .

コメントの追加 [分科会C18]: **【役割分担（議会）】**
 .

コメントの追加 [事務局19]: **【確認事項】**
 歩行者ファーストの考えに基づいた歩道整備だと、具体的には道幅の拡張や照明灯の数を増やすなどの他に何かございますでしょうか？（施策2.0関係）

提言書(素案) 分科会Dテーマ

基本目標 都市環境と自然環境が調和したまち

1 目指すべき姿

戸田市が持つ都市の利便性と豊かな自然を活かしながら、市民の環境に対する意識高揚と自主的な取り組みを促すことや、快適な生活環境を創出することで、調和のとれた持続可能なまちを目指します。

2 テーマ【緑地・緑化・水辺、公園、地球環境保全、廃棄物・リサイクル】

3 テーマの各分野における提言内容

(1) 緑地・緑化・水辺

現状と課題

- 花と緑の環境づくりをもっと進めることで、戸田市の好感度を上げていきたい。
- サクラソウプロジェクトがあるが、道満を中心とした取組の印象があり、市の花「サクラソウ」の取組が、どれだけ認知されているのか不明である。
- 四季折々の季節の花を感じられるなど、市全体が「市の花」などを活かした新たな観光名所となってもよい。

今後、5年間の目指すべき姿

- 「花の名所にあふれ、サクラソウを中心に花が身近にあることで快適な生活環境が保たれているまち」、「自生している草原など、もとある自然が守られているまち」を目指し、花に溢れたまちになることで、戸田市が選ばれるまちにもつながっていく

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 | |
|---------|---|---|
| 協働の取組 | 【市民×議会×行政】 ・サクラソウプロジェクトを街中でも行うなど、市民の認知度をあげ、参加者を増やし ながら、取組を拡充していく。 | |
| それぞれの取組 | 市民 ・SNS など、若者の情報発信力を活用し、全国に PR していく。 ・家庭にあるプランターやベランダガーデンなどに季節の花を植えていく。 | |
| | 議会 | |
| | 行政 | ・花まつりなど、荒川河川敷や環境空間を活用したイベントや取組を進めていく。 ・ゆるキャラ「戸田ヶ原自然再生キャラクターとだみちゃん」を積極的に活用し、こどもに環境教育などを行っていく。 |

コメントの追加 [戸田市1]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会D2]: **【役割分担(議会)】**

(2) 公園

現状と課題

- 公園についての関心が高く、再整備により利便性などが高まっているが、それを市民により伝えていくことで、市民の満足度もあがるはずである。
- ゴミが落ちていたら拾うなどの行動が「自分たちの公園」という意識となり、愛着につながる。まずは、そのような当たり前の行動を広げていくことが重要である。

今後、5年間の目指すべき姿

- 自分たちの公園という意識をきっかけに、愛着を持ち、「我がまち公園」と思える場所にあふれたまちを目指していく。

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|---------|--|
| 協働の取組 | <p>[市民×行政]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム対抗の競技として、公園内のゴミ拾いを楽しむイベントの開催など、ゴミを拾うことを通じて、捨てない気持ちを育てていく仕組みを作る。 |
| それぞれの取組 | <p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な公園を「自分たちの公園」という意識を持つ。 ・当事者として、計画段階から参画することで、愛着を深めていく。 |
| | <p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園施設へのネーミングライツのように、地域に密着した名称を付け、愛着を深めていく。 |

コメントの追加 [戸田市3]: **【役割分担の検討】**
 役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会D4]: **【役割分担（議会）】**
 ・

(3) 地球環境保全

現状と課題

- 地球環境については、気候変動などが影響していることや国や市が推奨している対策は知っているが、テーマが大きく、日々の生活で実感することもあまりない中、積極的に活動しにくい。
- 太陽光パネルの導入や、新たなエネルギーを生み出すという話より、緑化やリサイクルなどの身近で環境に関する取組を複合的に進めた方が環境保全につながるのではないかと。

今後、5年間の目指すべき姿

- 市民が無理なく行える省エネ生活の取組とともに、緑化やリサイクルの視点を取り入れた戸田市独自の環境保全活動を推進していくことで、環境保全先進都市を目指していく。

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|---------|--|
| 協働の取組 | <p>[市民×行政]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著名人が参加するような環境フェアを定期的で開催することにより、イベントの周知と地球環境保全について継続的な意識付けを行う。 ・市内企業の環境問題への取組(商品)を市民が購入する、返礼品にするなど、行政のバックアップを受けながら、様々な展開につながる好循環を生む連携を行っている。 |
| それぞれの取組 | <p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に良い原料の石鹸をまちぐるみで使っている地域もある。戸田市オリジナルの環境に良い石鹸など、企業ができる環境問題への取り組みを進めていく。 |
| | <p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業などが実施する先進的・象徴的な取組を行政が積極的にバックアップする。 |

コメントの追加 [戸田市5]: **【役割分担の検討】**
 役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会D6]: **【役割分担（議会）】**
 ・

(4) 廃棄物・リサイクル

現状と課題

- ゴミの分別や出し方、カラス対策など、1人ひとりがルールを守ることができるように、地域や町会ごとの課題にあった方法でルールを浸透させていく必要がある。まず、身近なところから綺麗にすることで、意識も高めていく必要がある。
- リサイクルを推進するためには、ゴミを出して終わりではなく、家庭で分別された資源物がどのような過程でリサイクルされるかをもっと知ってもらわなければならない。

今後、5年間の目指すべき姿

- ゴミ出しルールの周知やカラス対策など、地域ごとに必要な取組を行うとともに、落ちていたゴミを拾うなどが当たり前になる意識を広めていくことで、「ゴミが散乱しない快適なまち」にしていく。
- 分別の必要性やリサイクルの過程を市民に広く周知することで、リサイクルに対する意識を高め、興味を持ってもらいながら、「リサイクルが楽しくなるまち」にしていく。

目指すべき姿を実現するための取組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|---------|--|
| 協働の取組 | [市民×行政] ・地域の実情に合ったゴミ出しルールの周知を行い、市民から提供を受けた不法投棄などの情報が多いエリアを重点的に対策するなど、連携した環境衛生対策を行う。 |
| それぞれの取組 | 市民 ・各町会のごみ集積所のルールや課題に合わせた周知を行うなど、工夫した対策を行う。 |
| | 議会 ・地域に応じた周知を行うとともに、多言語チラシの更なる活用など、工夫した対策を積極的に行う。 ・資源の再生過程の「見える化」など、衛生センターと連携しながらリサイクルに対する意識を高め興味を持ってもらえるような工夫した取組を行う。 |

コメントの追加 [戸田市7]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会D8]: **【役割分担（議会）】**

提言書(素案) 分科会Aテーマ

基本目標 安全な暮らしを守るまち

1 目指すべき姿

市民・地域・行政の役割分担と協働のもと、地震や水害などに対する備えや、消防・救急体制を充実・強化することで、災害等に対し強靱な地域づくりを目指します。

また、犯罪や消費生活トラブルをなくすために、市民の意識高揚と警察等の関係主体との連携を図るとともに、安全な道路環境の整備を推進することにより交通事故を防ぎ、市民が安心して、安全に暮らせるまちを目指します。

2 テーマ【消防・救急、防災、防犯、市民相談・消費生活、河川・水路】

3 テーマの各分野における提言内容

(1) 消防・救急

現状と課題

- 消防団員の高齢化や若者の担い手不足など、地域の消防団員や消防職員の人材確保が難しい状況が続いており、地域の消防力の低下が懸念される。
- AED は、すぐ使えるように、普段から設置場所を把握しておくことが重要であるが、店舗や公共施設内にあるなど、目に留まりにくく、いざという時に設置場所が分からない。

今後、5年間の目指すべき姿

- 地域に十分な消防団員が確保され、消防署と連携し、地域と協力した火災予防や消防・救急活動が維持されている状態

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど |
|-------------|---|
| 協働の取組 | [市民×議会×行政] ・消防や消防団の活動が市民に注目されるように定期的な動画配信など、行政だけでなく、個人・企業・議会それぞれが連携し、工夫した広報を行っていく。 |
| それぞれ の取組 | 市民 ・行政の単一的な消防団活動の広報に加えて、町会ごとに活動周知するなど、より身近な問題として分かりやすくPRしていく。 |
| | 議会 ・市民に対し、消防団の現状や活動について広報や、働きかけを行っていく。 |
| | 行政 ・消防や消防団の訓練の市民参加型イベントなど、活動の重要性とともに、広報を行っていく。 ・戸田市救急ステーション制度の周知を行い、AED の設置場所や AED 設置表示証の存在を広く市民に認知してもらうとともに、新たな設置場所の検討を行う。 |

コメントの追加 [戸田市1]: 【役割分担の検討】
役割分担の記載内容を検討してください。

(2) 防災

現状と課題

- 水害に対する不安の声が多く、大雨による道路冠水などの対策が必要である。
- 1人ひとりが防災意識を高め、「自助」の力を高めることが基本だが、災害発生時に「自助」でできることに限界があり、「共助」が重要となることから、防災訓練への参加や自主防災に関わる人材の確保や育成など、市民の更なる意識向上が必要である。

今後、5年間の目指すべき姿

- 市民一人ひとりの防災意識を向上させるとともに、自主防災に関わる人材の確保や育成により、地域防災力が高まった状態
- 「自助・共助・公助」それぞれの役割を理解するとともに、町会への加入など、地域における「共助」の力を高め、支え合える状態

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど | |
|-------|---|---|
| 協働の取組 | [市民×議会×行政] ・市民、議会、行政がそれぞれの特性を生かしつつ、参加したくなるイベントの開催や訓練等の機会の創出により、防災意識の向上を図る。 | |
| | それぞれ | ・個人の取組としては、日頃から土嚢ステーションの場所を確認する。 ・町会などの地域では、いざという時に、土嚢の運搬などを地域で協力できる共助体制を作る。 |
| の取組 | 市民 | ・個人に対し、防災情報の提供を行うとともに、共助の理念を伝えていく。 |
| | 議会 | ・デジタル技術等を活用し、防災情報にいつでもアクセスできる環境を提供する。 ・学校教育の一環として、防災教育を充実させ、中学生防災士の育成を促進する。 |

コメントの追加 [戸田市2]: 【役割分担の検討】
役割分担の記載内容を検討してください。

(3) 防犯

現状と課題

- 市全体では、バイクや自転車盗難が多いが、地域によって犯罪発生状況が異なるため、状況に応じた防犯情報の共有なども必要である。
- 直近20年間で犯罪発生件数は減少しているものの、地域によっては街灯が少なく、暗がりが多い。また、見守り防犯カメラの不具合が生じるなど、体感治安の改善も必要である。

今後、5年間の目指すべき姿

- 地域ごとの特性に応じた防犯対策の実施や、市民への防犯情報の共有により、1人ひとりの防犯対策や意識が高まった状態
- 地域によっては、夜道を歩く際に不安を感じる場所が多いことから、安心感や犯罪・事故防止につながる取組を進めることにより、「安心して夜道を歩けるまち」を目指していく。

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど | |
|-------|--|--|
| 協働の取組 | [市民×議会×行政] ・犯罪を未然に防ぐために、防犯カメラや街灯の設置等の対策を行うとともに、市民・議会・行政が情報を共有しながら、地域で協力してパトロールを行うこと等により、防犯意識を高める。 | |
| | それぞれ | ・個人や家庭、企業など、それぞれができる防犯対策を行っていく。 |
| の取組 | 市民 | ・暗がりや見通しが悪い場所など、市民から寄せられた情報を集約し、市民に共有しつつ、行政に防犯対策を働きかける。 |
| | 議会 | ・犯罪発生リスクが高い場所を洗い出し、市民への情報提供や対策を行っていく。 ・見守り防犯カメラの設置場所の見直しなどを行っていく。 |

コメントの追加 [戸田市3]: 【役割分担の検討】
役割分担の記載内容を検討してください。

(4) 市民相談・消費生活

現状と課題

- 相談内容が複雑化するなど、どこの窓口で相談してよいか迷うことがある。市民相談が気軽にできるように、相談窓口の認知度を向上させるとともに、相談方法の多様化が必要である。

今後、5年間の目指すべき姿

- 相談したい時に、誰でもどこでも何でも相談できる体制が整っている状態

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | | 目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど |
|-------------|----|--|
| 協働の取組 | | [<input type="checkbox"/> ×] |
| それぞれ の取組 | 市民 | ・相談を行う前に、自己解決ができないか情報の収集を行う。 |
| | 議会 | ・議員が行う市民相談等を行政の相談窓口へつなげていく。 |
| | 行政 | ・対面だけでなく、オンラインによる相談の実施していく。 ・AIを活用した先進的な取組として、相談内容に応じた窓口を案内してくれる取組などの検討などを行う。 |

コメントの追加 [伊田市4]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会A5]: **【 × 】**

(5) 河川・水路

現状と課題

- ゲリラ豪雨等により、雨水処理能力を超え浸水する、内水氾濫が発生しやすいことから、水害に対する不安の声が多く、依然として浸水対策が重要な状況となっている。

今後、5年間の目指すべき姿

- 浸水・冠水した地域は生活や経済活動に影響を及ぼすおそれがあることから、国県との連携した取組やそれぞれができる取組を進めることにより「河川の氾濫しないまち」「内水氾濫を減らせるまち」を目指していく。

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | | 目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど |
|-------------|----|---|
| 協働の取組 | | [<input type="checkbox"/> ×] ・○○ |
| それぞれ の取組 | 市民 | ・自宅周りの排水溝(側溝)の清掃など、身近にできる浸水対策を行っていく。 |
| | 議会 | |
| | 行政 | ・河川や下水道施設、雨水貯留施設の計画的な整備に加えて、個人でできる浸水対策や水害にあった市民への支援などの情報提供を積極的に行っていく。 |

コメントの追加 [伊田市6]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会A7]: **【 × 】**

コメントの追加 [分科会A8]: **【役割分担(議会)】**

提言書(素案) 分科会Bテーマ

基本目標 共に生き、支えあい、安心して暮らせるまち

1 目指すべき姿

地域医療や健康づくり体制などの充実を進めることで、市民が健康で元気に暮らせるまちを目指します。

また、地域における多様な主体の連携と市民相互の支え合いを基本としながら、的確に福祉サービスを提供することにより、高齢者や障がい者など、支援を必要とする人々が、その人らしく安心して暮らせるまちを目指します。

2 テーマ【高齢者福祉、社会保障、障がい者(児)福祉】

3 テーマの各分野における提言内容

(1) 高齢者福祉

現状と課題

- コミュニティ活動に参加したくても、参加できていない高齢者がいる。町会やグループに加入していないと参加しにくいなど、既存のコミュニティへの参加の敷居が高いのではないかと。
- コミュニティ活動に自主的に参加できる人を増やすとともに、活動していない人が活動したいと思えるきっかけ作りも必要である。

今後、5年間の目指すべき姿

- 高齢者の誰もが気軽に参加できる様々なコミュニティが形成されることで、高齢者の見守りや社会とのつながりを持ち続けている状態

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|---------|--|
| 協働の取組 | 【市民×行政】 ・コミュニティ活動団体などの運営主体と行政が連携し、参加する全員が「初めまして」のイベントの開催など、高齢者が新しいコミュニティに参加できるような仕組みを各コミュニティで作る。 |
| それぞれの取組 | 市民 ・近くの公園など、歩いていける環境でのイベント開催など、参加しやすいコミュニティ活動を進めていく。 |
| | 議会 ・ |
| | 行政 ・町会だけでなく、高齢者も参加できるような活動をしているボランティアや民間団体、若者たちを行政がマッチングし、活性化させていく。 |

コメントの追加 [伊田市1]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会B2]: **【役割分担(議会)】**
・

(2) 社会保障

現状と課題

- 年金などの既存の社会保障制度や経済的な不安から、高齢者の再就職や就職しても定着しないケースが増えている中、年齢等に関係なく就労支援を行っていくとともに、年金制度などに関する正しい情報を周知していく必要がある。
- []

今後、5年間の目指すべき姿

- 年齢や生活環境にかかわらず、多様な働き方を受け入れる環境づくりが整っている状態

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 | |
|---------|-------|--|
| 協働の取組 | [×] | |
| それぞれの取組 | 市民 | |
| | 議会 | |
| | 行政 | 年金制度などに関する講座や相談会を開催し、年金に関する正しい情報を提供する。 |

コメントの追加 [事務局3]: **【確認事項】**
社会保障制度の「公的扶助」にあたる、生活困窮者への支援などの内容について、追加はありますか？（施策13関係）

コメントの追加 [分科会B4R3]:

コメントの追加 [戸田市5]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会B6]: **【 × 】**

コメントの追加 [分科会B7]: **【役割分担（市民）】**

コメントの追加 [分科会B8]: **【役割分担（議会）】**

(3) 障がい者(児)福祉

現状と課題

- 親の高齢化など、障がいのある人の「親亡き後」問題が顕在化してきており、周りの方や地域、施設等の重要性が増すことから、担い手の確保や資質の向上が必要である。
- 障がいのある人たちは、様々な障壁により、生きにくさを感じていることがある。障がいの有無にかかわらず生活しやすい社会づくりのため、障がいについての理解や工夫、配慮などを行っていくことが重要である。

今後、5年間の目指すべき姿

- 障がいによる差別のない共生社会づくりとして、関わり方や障がいについて理解を深め、「障がい等の有無にかかわらず、自分らしく生きられるまち」を目指していく。

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 | |
|---------|--|---|
| 協働の取組 | [市民×行政] ・支援の担い手となる施設や事業所職員に対して、県や社会福祉協議会等と連携し、情報提供や研修などの様々な支援を行い、技術・知識を向上していく。 ・障がいのある人と一緒にイベントに参加するなどの機会を増やし、障がいについての理解を深め、意識を変えるきっかけを作る。 | |
| それぞれの取組 | 市民 | |
| | 議会 | |
| | 行政 | 障がい者(児)福祉に係る施設や事業所の人材確保、育成を進めるための独自研修や補助などのサポートを拡充していく。 |

コメントの追加 [戸田市9]: **【役割分担の検討】**
役割分担の記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会B10]: **【役割分担（市民）】**

コメントの追加 [分科会B11]: **【役割分担（議会）】**

提言書(素案) 分科会Cテーマ

基本目標 創造性や豊かな心を育むまち

1 目指すべき姿

市民が、生きがいづくりやまちづくりへ参画するために、生涯にわたって学び合える環境を構築するとともに、文化・スポーツ活動を通じて文化の創造・継承やスポーツに触れることで、人生 100 年時代を心豊かに過ごせるまちを目指します。

2 テーマ【生涯学習、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション】

3 テーマと各分野における提言内容

(1) 生涯学習

現状と課題

- 市民大学(特に大学提携講座)の開催は主に平日昼間で、現役世代が参加しにくいことに加え、カリキュラムも少ないことから講座バリエーションの更なる充実が求められる。
- 全世代に対し、生涯学習という言葉の意味が伝わっていない。
- 学校教育と比べ、生涯学習の ICT 化が遅れていることに加え、誰もが情報を取得しやすい環境構築のため、生涯学習サイトの更なる充実が必要である。

今後、5年間の目指すべき姿

- 多世代ニーズに対応できるよう生涯学習のイメージを変え、生涯学習内容の周知の工夫を行うとともに、学習することによるメリットを明確にし、皆が参加したい講座等があるまち

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|--------------|---|
| 協働の取組 | [市民×議会×行政] |
| それぞれ の取組 | 市民 ・市民が講師となって、市民に広げる、市民による市民のための講座を開設する。 |
| | 議会 ・ |
| | 行政 ・土日や夜間の講座開講など、誰もが参加しやすい時間帯での講座を増やす。 ・オンライン配信の更なる拡大や、配信方法を工夫する(2倍速等、短い時間で欲しい情報得られる効率的な受講、アーカイブ配信) ・著名人を活用したり、インフルエンサーを活用した情報拡散等により、親しみやすい環境を構築する。 ・彩湖・道満グリーンパーク等を活用した野外学習を実施する。 ・仕事に生かせる講座の開設など、講座内容のバリエーションを増やし、多世代に向けて誰もが親むことができる、カリキュラムを構築する。 |

コメントの追加 [事務局1]: **【確認事項】**
 ここでの「誰もが」は、全世代という認識でよろしいでしょうか?それとも電子媒体より情報を取得する世代に向けてというところでしょうか?

また、生涯学習サイトの更なる充実において、網羅すべき情報は「市民大学の開催情報」以外にどんなものが考えられますか?

(施策5関係)

コメントの追加 [分科会C2R1]:

コメントの追加 [事務局3]: **【役割分担の検討】**
 役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会C4]: **【役割分担(協働の取組)】**

コメントの追加 [分科会C5]: **【役割分担(議会)】**

コメントの追加 [事務局6]: **【確認事項】**
 生涯学習に更に親しみをもってもらえるように講師に著名人を招いたり、講座の紹介にインフルエンサーを起用したりが考えられますが、他に何か具体的な取組はございますでしょうか?

(施策5関係)

コメントの追加 [分科会C7R6]:

(2) 芸術・文化

現状と課題

- 文化・芸術活動ができる施設や場所が少なく、文化会館の利用者が一部のサークルなどに偏っており利用し難いことから市民が発表する場が限られている。
- 市民が参加できる芸術イベントが開催され、かつ皆が芸術・文化に触れるきっかけとなるような戸田市を代表するようなシンボリックで大規模なイベント等があると良い。

今後、5年間の目指すべき姿

- 多世代の人が芸術文化を実感できる魅力的なイベントがあるまち
- 市民が活動実績を発表する場が十分にある状態

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 | |
|---------|---|--|
| 協働の取組 | <p>【市民×行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・彩湖・道満グリーンパークを文化・芸術の発信拠点として、大規模かつ様々なイベントを開催することで戸田市の魅力を発信しつつ、市民の皆様にも積極的に参加いただく。 ・利用者のニーズを把握し、ニーズに合った施設や場所を確保することで、芸術・文化活動をしやすいとする。 ・既存の活動を見直し、各文化・芸術活動団体と連携して、多世代が魅力を感じられるような仕組みづくりに向けた検討を行う。 | |
| それぞれの取組 | 市民 | ・ |
| | 議会 | ・ |
| | 行政 | ・福祉センター等を芸術活動にも使えるようにすることで、身近な文化の発信の拠点を各地区に作る。 |

コメントの追加 [事務局8]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [事務局9]: **【確認事項】**
多世代が魅力を感じられるような仕組みづくりとは具体的にどんなことが考えられますか？
(施策6関係)

コメントの追加 [分科会C10R9]: ・

コメントの追加 [分科会C11]: **【役割分担（市民）】**
・

コメントの追加 [分科会C12]: **【役割分担（議会）】**
・

(3) スポーツ・レクリエーション

現状と課題

- スポーツを「する」だけでなく、「みて」楽しむこともできるような「スポーツの拠点」であることが大切である。
- スポーツの魅力等に触れ合う機会を増やす目的で、プロリーグの試合観戦やオリンピック選手などとの交流ができる機会を設けることも効果的である一方で、戸田市内の貴重な地域資源(施設・選手)を活用したイベント等の開催が少ない印象がある。
- **スポーツセンターは「スポーツの拠点」として中心的な施設であることから、老朽化対策とともに、魅力的な施設にすることが重要である。**また、**ボートコースの存在も戸田市の大きな特徴であり、彩湖・道満グリーンパークと一体的に取り組むなど、既存資源を「スポーツの拠点」として活用していく必要がある。**

今後、5年間の目指すべき姿

- 地域資源(施設・選手等)を活用し、誰もがスポーツに触れ合い、楽しむ機会が増えた状態

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|-------|---|
| 協働の取組 | <p>【市民×行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックによるボート教室やラグビー教室等、プロによるスポーツ教室等を実施し、スポーツに触れてもらうことで、スポーツに親しめる機会を創出し、関心度の向上や認知度の向上を図る。 |

コメントの追加 [事務局13]: **【確認事項】**
スポーツセンターに備わっていると魅力的と考える設備や機能は具体的には何がございませうか？
(施策7関係)

コメントの追加 [分科会C14R13]: ・

コメントの追加 [事務局15]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

| | | |
|---------|------|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ボートなど、色々な水辺のスポーツに触れてもらう機会の創出に努める。 ・「スポーツの拠点」としてのスポーツセンターの活用法を官民連携で考え、より魅力的な拠点となるようハード整備等も視野に入れ検討を進める。 |
| それぞれの取組 | 市民議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設・選手や協力団体等の情報を把握の上、積極的に活用する。 |
| | | <p>.....</p> |
| | 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツのエキシビジョンマッチ等を誘致する。(戸田ヤクルトレビズ(ラグビー)・戸田メディックス(ソフトボール)との交流事業等) ・魅力創出のため、市民に対し、戸田公園駅の近くのボートを更にアピールするモニュメント等があると実感が湧く。 ・スポーツセンターに観覧席の設置を行う他、施設利用料の見直しなどにより、利用者の拡大に努める。 |

コメントの追加 [分科会C16]: **【役割分担(議会)】**

提言書(素案) 分科会Dテーマ

基本目標 活力にあふれ人が集い心ふれあうまち

1 目指すべき姿

多様な働き方の実現や市内経済を支える産業の振興、町会、ボランティアなどの団体に対する活動の促進などにより、「まちの活力」の創出を目指します。

また、地域資源を活かした観光の取り組みを通じて、賑わいの創出を目指すことや、国内外の地域住民の交流を促進することで、人が集まり、心ふれあうまちを目指します。

2 テーマ【起業・就労支援、産業振興、観光振興、協働・交流】

3 テーマの各分野における提言内容

(1) 起業・就労支援

現状と課題

- 多くの人にとって、「起業」が身近なものではない中で、起業したいと思えるような支援が必要である。また、ソーシャルビジネスやコミュニティービジネスなどの起業家育成も今後、重要になっていく。
- 障がい者雇用に関する制度や接し方が分からないなど、企業としても障がい者雇用の難しさがあり、定着率の低さの要因の一つになっている。
- 働くことにハードルのある人への支援とともに、企業への制度周知など、これまで以上に行っていく必要がある。

今後、5年間の目指すべき姿

- 「起業が身近な選択肢となり、起業家が起業家を呼び、市内で起業したいと思える状態」を目指していく。
- 障がいのある人や働くことにハードルがある人なども含め、「働きたい人が、自分に合う仕事を見つけることができる状態」を目指していく。

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|-------------|--|
| 協働の取組 | 【市民×行政】 ・商工会などが起業支援として起業アイデアを創出する機会を定期的に設け、行政は事業化や事業拡大などを後押しするなど、一貫性のある支援や仕組みを構築し、市内の起業家や経済に賑わいをもたらしていく。 |
| それぞれ の取組 | 市民 ・障がい者雇用に関する支援等の情報収集や、障がい者との関わり方について理解する機会を設けるなど、環境整備を進めていく。 |
| | 議会 ・求職者に対して、県や市の就労支援センター、ハローワークなどと連携した支援やマッチングを行うとともに、企業に対しても障がい者雇用に関する支援等の制度について、継続的に周知していく。 ・きめ細やかな相談支援など、起業する人の心を後押しするような支援を充実していく。 |

コメントの追加 [戸田市1]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会D2]: **【役割分担（議会）】**
・

(2) 産業振興

現状と課題

- ベッドタウンとして都心へ通勤する人が多い戸田市では、近所との交流や市内の名産品や産業について、関心を持ちにくい状況である。
- ふるさと納税の寄付額は増えている一方で、市内における名産品や産業に対する認知度はあまり高い印象がある。

今後、5年間の目指すべき姿

- ふるさと納税などを通じて、市内の名産品や魅力を市外に発信するとともに、地産地消の取組などにより、市内産業の魅力を市民にも積極的に伝えていくことにより、産業面から「市民一人ひとりのシビックプライドを高めていく」ことを目指していく。

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|-------------|--|
| 協働の取組 | [市民×行政] ・アイデアコンテストなど、商工会などが中心になって商品開発等のアイデアを創出する機会を定期的に設け、行政は商品化への支援を行う。成功した際は、ふるさと納税返礼品に活用するなど、市の魅力としても発信していく。 |
| それぞれ の取組 | 市民 ・市役所の空スペースなど、市民が多く立ち寄る場所で、名産品などの展示や販売を積極的に行っていく。 |
| | 議会 ・「戸田の未来(ミネラルウォーター)」のように、既に販売している市の商品なども地産地消の取組として、積極的にPRを行っていく。 ・市役所内の空きスペースや待合スペースにある広告モニターなどを活用し、PRする機会を提供していく。 |

コメントの追加 [戸田市3]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会D4]: **【役割分担（議会）】**

(3) 観光振興

現状と課題

- 彩湖・道満グリーンパークや花火大会、それ以外にも様々な魅力があるが、十分に活用されていない。また、市全体として、行政がどのように観光に力を入れていきたいかなどの方向性が分かりにくい印象がある。
- 荒川からポートコース、彩湖・道満グリーンパークなど水と緑が豊かな地域資源を一体的にPRしていくなど、市の魅力の再発見や認知度をあげていくことが必要である。

今後、5年間の目指すべき姿

- 彩湖・道満グリーンパークなど水と緑、自然を求めて、都内から訪れたいくなるような新たな観光地を作りながら、「市の魅力の再発見や市内外の人に認知され、様々な人に地域資源が活用される状態」を目指していく。

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | 内容 |
|-------|---|
| 協働の取組 | [市民×議会×行政] ・総合的なPRを担当する組織に重点的に予算を付け、個々に発信するだけでなく、産業・経済・観光など広い分野で関連性を持ちながら、インフルエンサーの活用など、戦略的に情報発信を行っていく。 |
| それぞれ | 市民 ・市の魅力を再発見しつつ、SNSなどで、積極的に発信していく。 |

コメントの追加 [戸田市5]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

| | | |
|-----|----|--|
| の取組 | 議会 | ・ |
| | 行政 | ・彩湖・道満グリーンパークをソロキャンプの聖地やロックフェスの開催など、訪れたいくなるような新たな観光地としての活用方法を検討していく。 |

コメントの追加 [分科会D6]: **【役割分担（議会）】**

(4) 協働・交流

現状と課題

- 戸田市の総人口は、以前ほど増加していない一方で、外国人の転入は増加しており、双方の文化や生活様式を理解するなど多文化共生を進めていく必要がある。
- 高齢者世帯や単身高齢者が増加する中、孤独感や地域とのつながりの減少など漠然とした不安の声を高齢者から聞くことが増えている。

今後、5年間の目指すべき姿

- 高齢者（功労者）の知恵と経験を活用した多文化共生の取組や高齢者の外出を促す取組などを進めることで、「年代や国籍に関わらず、人とのつながりを持ち、自然と関係性が構築された状態」を目指していく。

目指すべき姿を実現するための取り組み、アイデアなど

| 役割分担 | | 内容 |
|--------------|----|--|
| 協働の取組 | | <u>【市民×行政】</u> ・高齢者と外国人のマッチングの機会を設け、高齢者の知恵や経験を活用しながら、外国人に日本の文化や生活様式を知ってもらう取組を行っていく。 |
| それぞれ の取組 | 市民 | ・年代や国籍に関わらず、自然と関係性を築いていけるように、誰にでもきちんといさつする習慣を身に付けていく。 |
| | 議会 | ・ |
| の取組 | 行政 | ・外国人の転入手続の際に、国際交流協会の周知をするなど、外国人の横のつながりを増やしていく。 ・広報や市が作成する動画などについて、多言語で広く発信していく（AI 活用により効率的に行う）。 |

コメントの追加 [戸田市7]: **【役割分担の検討】**
役割分担の「空欄」部分について、記載内容を検討してください。

コメントの追加 [分科会D8]: **【役割分担（議会）】**

| | |
|----------|--|
| 分科会[A] | テーマ : 子育て支援、児童・青少年育成、学校教育 |
| 基本目標 | 子どもが健やかに育ちいきいきと輝けるまち |
| 基本目標のゴール | 地域全体で子育てを支えるという理念を大切に、子育て支援に積極的に取り組む市として、 <u>安心して子どもを産み、楽しく育てることができ、全ての子どもがすくすくと成長する環境づくりを目指します。</u> また、安全に健やかに過ごせる環境の中で、 <u>これからの社会の在り方を見据えた特色ある教育を展開し、子どもたちが未来の創り手となるための力を育むことを目指します。</u> |

| 分野 | 現状、問題と課題 【第2回より】 再確認 | 今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】 | | 目指すべき姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】 | | 関連する施策 |
|----------|--|---|--|--|---|--|
| | | 【目指すべき姿】 | 【なぜ、そう思ったか】 | 【誰が】 | 【何をする(取り組みのアイデア)】 | |
| 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> 保育料(0~2歳)も無料に(負担の軽減) 保育士の確保・質 希望した保育園にすんなり入園できた 父子家庭支援 宿泊デイ(産後ケア本当に届いていますか?) | <ul style="list-style-type: none"> 現状、待機児童ゼロだが、共働き世帯が仕事も充実させられるよう、保育の利便性が一層高められた環境が整備されていること。 病児保育など困ったときに保育を利用しやすい環境、親が休みやすい環境 | <ul style="list-style-type: none"> 都内在勤の世帯の保育需要(通勤上での利便性が高い)にこたえられることができれば定住民を呼び込めるため。 まずは親が看護することが大事であるため。 | <ul style="list-style-type: none"> 市民 行政 市民、行政 行政 | <ul style="list-style-type: none"> 企業内、マンション内保育園 市内企業の優良取り組み事例の紹介 病児保育などの受け入れ施設の増加(受け入れ施設が相談できる医療機関の確保、医療機関との連携による流行り病の情報提供、共有) 保育士人材の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 施策1 施策2 |
| 児童・青少年育成 | <ul style="list-style-type: none"> 学童の待機児童を「0」に 学校内の公立学童の充実(民間のように) 民間学童の質 室内の遊び場がもっとほしい(雨の日、真夏) 青少年の広場の整備 ボールで遊べる広場が少ない 子供会が弱体化している 外国人の子ども達 子供たちがワクワク、ポジティブな施策がもっとできるのでは(学校外の活動でも) 地場産業の体験、産官学連携。ICT、IT技術者との連携、活用。 共働き世帯が多い。興味を持ってもらえる居場所が必要。(充実しているので、より一層を求められる。無いと気づかないが、あるためより一層を求められる) | <ul style="list-style-type: none"> 子ども会をはじめ、子どもの受け入れ先の選択肢が豊富で、活動が充実している環境。(学童、放課後子どもクラブ、習い事) 子どもの居場所で子どもの相手をしてくれる人材が充実している。 子どもが遊びたいと思うことで遊べる環境。(子どもの需要にマッチしていること、横のつながりも) | <ul style="list-style-type: none"> 子ども会加入約3割。学校がこども会に求める役割は多い。 学童が子どもの教育に与える重要性が高い。学童をはじめ、子どもの家庭外での滞在時間が長い。 子どもの居場所に携わる人材は多いに越したことは無い。色々な人が子どもの相手をしてくれることで、子どもは色々なことを体験できる。 児童センターの遊べるメニューは、大人側で用意したメニューを選んでもらっている。学童は横のつながりが無い。 | <ul style="list-style-type: none"> 市民、行政、 行政、 行政 市民、行政 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども受け入れ先の選択肢の確保、増加 人材確保(学生、定年後) 子どもの遊びたいことを子どもから吸い上げ。WEB無記名意見募集。効果的な意見募集の方法自体を子どもから聞く。 市内企業や団体と連携した活動をマッチング。SDGsパートナー企業など。 | <ul style="list-style-type: none"> 施策3 |

| | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|--|------------|
| <p>学校教育</p> | <p>教育格差（地区により学力に差があると思われる）</p> <p>タブレット教育とアナログ学習のバランスを</p> <p>学力アップに力を入れてほしい</p> <p>教員が不足している</p> <p>PTA が弱体化している</p> <p>子供会が弱体化している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮児童のケア ・学校間人数の是正 ・情報格差（困窮世帯） ・内容充実したうえでの新たな課題（次なる目標）への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・学力差の平均化より、一人ひとりの個性を伸ばし、自己肯定感を高め、希望が実現できる教育 ・個性に合わせて希望の進学先に進めるような環境。 ・教員が充実して、教員が働きやすい環境が整っている。 ・ICTを普及させつつ、教師と生徒のコミュニケーション、関係性を育む。小学校のうちからICT活用のメリハリ（デジタルとアナログの長所と短所の理解）をつけて、メディアリテラシー、ICT活用のリテラシーを身につける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済的格差が教育格差につながっている。 ・地区により外国人比率に差がある。（喜沢多い） ・一人ひとり個性がある。 ・高校からは、学校により学力や分野の違いがある。 ・教員の人材不足、業務量の多さ、働く環境、得手不得手がある。 ・学校応援団の需要が高い。 ・不登校がまんべんなくいる、 ・ICTの普及により、先生の話をも直接聞く（教師とのコミュニケーション）の希薄化が見られる。 ・教師のICT習熟度のばらつきがある。 | <p>行政</p> <p>行政</p> <p>行政、市民</p> <p>行政、市民</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感や将来について明るい見通しがあるか、アンケートし、それらを向上させる取組。 ・習熟度別教育。（の方が教師も負担が少ない） ・人材確保、外部人材（地域人材、企業）の活用。 ・体験型授業（町探検） ・アナログの大切さも伝える。（アナログの日の設定） | <p>施策4</p> |
|-------------|---|---|---|---|--|------------|

| | |
|----------|---|
| 分科会[A] | テーマ : 消防・救急、防災、防犯、市民相談・消費生活、河川・水路 |
| 基本目標 | 安全な暮らしを守るまち |
| 基本目標のゴール | 市民・地域・行政の役割分担と協働のもと、地震や水害などに対する備えや、消防・救急体制を充実・強化することで、災害等に対し強靱な地域づくりを目指します。 また、犯罪や消費生活トラブルをなくすために、市民の意識高揚と警察等の関係主体との連携を図るとともに、安全な道路環境の整備を推進することにより交通事故を防ぎ、市民が安心して、安全に暮らせるまちを目指します。 |

| 分野 | 現状、問題と課題 【第2回より】再確認 | 今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】 | | 目指すべき姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】 | | 関連する施策 |
|-------|---|--|--|---|--|--------|
| | | 【目指すべき姿】 | 【なぜ、そう思ったか】 | 【誰が】 | 【何をする(取り組みのアイデア)】 | |
| 消防・救急 | <ul style="list-style-type: none"> 消防・救急の質の維持 消防団員の不足 ・AEDの設置と情報の共有 ・タクシー代わりに救急車を使う人がいる(必要のない救急車の出動を抑制する) (#7119に電話したら救急車を呼んだ方が良かったと言われたというケースも) ・AEDが学校体育館にない、万一のときは学校・学童に割って入らないといけない ・消防団員の高齢化、若い人の担い手不足 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域において十分な消防団員が確保され、地域と協力した火災予防や消防の活動が維持された状態 ・AEDがどこに設置されているのかみんなが知っている状態 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の消防団員や消防職員の人材確保が難しい状況が続いている。 ・使いたいときに使えるようにしておかないといけない。普段から知っていないと使うことができない。 | <ul style="list-style-type: none"> 行政・議会 市民(町会) 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・周知、PR ・町会ごとに情報発信 ・周知、PR ・設置場所の検討 | 施策15 |
| 防災 | <ul style="list-style-type: none"> 道路が冠水する 大雨による冠水対策がもっと必要 令和8年完成雨水貯留管(北大通り)その効果は? 水害への不安の声が多い(家・車など)(ゲリラ豪雨) 防災訓練参加者が少ない。市民の意識の向上 歩きタバコが多い ・マンション防災 ・災害弱者を基準に防災を考えないといけない ・災害時の受け入れ(町会からマンションに依頼) ・町会に加入していない人(賃貸の人等)を取りこぼさないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりの防災意識が向上、自主防災に関わる人材確保・育成により地域防災力が高まった状態 ・市民が自助努力で乗り切れるのが理想だが、町会への加入等、共助で乗り切れる状態 | <ul style="list-style-type: none"> ・水害対策を行いつつ、災害発生時は「共助」による助け合いが重要であるため、市民の防災意識の向上が必要 | <ul style="list-style-type: none"> 行政 市民 | <ul style="list-style-type: none"> ・周知、PR ・市民が参加したくなるイベントの開催、機会の創出 ・学校教育 ・中学生防災士の育成 ・土嚢ステーションの場所の確認 ・地域の人の分の土嚢の運搬 ・町会としての共助 | 施策16 |
| 防犯 | <ul style="list-style-type: none"> バイク盗難が多い 自転車盗難が多い 防犯対策ニュース(パトロールを増やす)(地域コミュニティ) 新曽地区の治安 犯罪認知件数がまだ多い 防犯パトロール活動が盛んに行われている ・防犯カメラが半分くらい機能していなかった ・地域によって該当が少なく暗い | <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとの特性に応じた防犯対策の実施や、市民への防犯情報の共有により、一人ひとりの防犯対策や意識が高まった状態 ・安心して歩けるまち | <ul style="list-style-type: none"> ・地域によって、犯罪状況が異なる。 ・暗がりが多い ・犯罪件数が多い ・防犯カメラが機能していない | <ul style="list-style-type: none"> 行政 市民 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・リスクの高いところの洗い出し ・各家庭の防犯対策 ・防犯パトロール ・リスク箇所の行政への情報提供 ・リスクの高いところの洗い出し(防犯カメラ、街灯等のチェック) | 施策17 |

| | |
|----------|---|
| 分科会[B] | テーマ : 医療、健康づくり、地域における支え合い |
| 基本目標 | 共に生き、支えあい、安心して暮らせるまち |
| 基本目標のゴール | 地域医療や健康づくり体制などの充実を進めることで、市民が健康で元気に暮らせるまちを目指します。 また、地域における多様な主体の連携と市民相互の支え合いを基本としながら、的確に福祉サービスを提供することにより、高齢者や障がい者など、支援を必要とする人々が、その人らしく安心して暮らせるまちを目指します。 |

| 分野 | 現状、問題と課題 【第2回より】再確認 | 今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】 | | 目指すべき姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】 | | 関連する施策 |
|------------|---|---|--|---|-------------------|--------|
| | | 【目指すべき姿】 | 【なぜ、そう思ったか】 | 【誰が】 | 【何をする(取り組みのアイデア)】 | |
| | | | | | | |
| 医療 | <ul style="list-style-type: none"> 西部地区に医療機関が少ない(東西の人口格差に影響を受けている) 医療施設、クリニックが少ない 地域医療の東西格差 医療機関の偏り マイナ保険証 高齢化に伴う医療費の増加と要介護認定者の増加 地域医療体制の強化、戸田市の医療費負担の増加 医療費の適正化(削減) 健康寿命の延伸 | <ul style="list-style-type: none"> 住んでいる地域にかかわらず、平等に医療を受けられる体制づくり | <ul style="list-style-type: none"> 市民医療センター、知られていない 市民医療センターが特定健診を美笹公民館に出向いて行っている。受診者5~6人 利用者が少ない。75歳以上限定 | <ul style="list-style-type: none"> 介護、福祉、障害者施設と地域医療(医師会)との連携、ネットワークを構築する。 起き上がれない方、外に出られない方に対して、介護のボランティア、アルバイト、空き時間を活用できる仕組み 医療機関の場所、周知の強化(ネットが使えない方に対する周知) あいパル等で定期的に診療ができないか。地域に出向いた巡回診療 | 施策8 | |
| 健康づくり | <ul style="list-style-type: none"> 公園でボール遊びができるところがない。 路上喫煙の多さ(公共施設、駅周辺は少ないが) マイナ保険証 高齢化に伴う医療費の増加と要介護認定者の増加 地域医療体制の強化、戸田市の医療費負担の増加 医療費の適正化(削減) 健康寿命の延伸 | <ul style="list-style-type: none"> 市民全体の健康意識が高まることで医療サービスを最小限に 住むだけで健康になるまち | <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり活動にも来ることができない人の健康を救う 健康意識が高くない人に対するアプローチ(ウォーカブルを活用) 軽いトレーニングを皆で行うと効果的 社会に出ることと健康は繋がっている | <ul style="list-style-type: none"> 行けば健康について考えられる施設が必要。(公民館での巡回診療の話から) ウォーキングコースなどの紹介、参画するような仕組みが必要 市内散策コース、地図作成 健康づくりアプリを利用したインセンティブ、おいしく健康管理 ウォーカブル(点在するイベントを廻る) 体育館、スポセン、企業が持つ会場を使う健康づくり活動 | 施策9 | |
| 地域における支え合い | <ul style="list-style-type: none"> 人とのつながりが少ない 単身が多い 流出が多い つながりが少ない つながり不足 地域のコミュニケーションがとりにくい。 地域の個々のイベントがほしい コロナ禍以降の地域内でのつながりが希薄 地域福祉に携わる人員の不足 民生委員の担い手不足 民生委員の不足 町会、子ども会、PTA 学校、市との連携 8050問題 福祉相談窓口の煩雑さ | <ul style="list-style-type: none"> 若い世代、高齢者の繋がりがあるまち | <ul style="list-style-type: none"> 民生委員の成り手が少ない。 人前で喋る機会が増えれば自信がつく。リーダーシップが取れる子どもが、将来の成り手になる。 地域福祉活動に対するハードルが高い。 市民を巻き込む色々な動き、仕組みを 地域との繋がり大切(ウォーカブルを活用) | <ul style="list-style-type: none"> PTAなども含め、これまでと同じ仕組みでは対応が困難になる。無くす必要はないが、いろいろなコミュニティを重層的につなげていく仕組み。そのリーダー達がつながる仕組みが必要 民生委員が何をしているか知る機会が必要 いろいろなニーズをつなぐ存在、仕組みが必要。行政の信頼度で音頭を。 ウォーカブル(点在するイベントを廻る) 民生委員の紹介など併せて行える | 施策10 | |

| | |
|----------|---|
| 分科会[B] | テーマ : 高齢者福祉、社会保障、障がい者(児)福祉 |
| 基本目標 | 共に生き、支えあい、安心して暮らせるまち |
| 基本目標のゴール | 地域医療や健康づくり体制などの充実を進めることで、市民が健康で元気に暮らせるまちを目指します。 また、地域における多様な主体の連携と市民相互の支え合いを基本としながら、的確に福祉サービスを提供することにより、高齢者や障がい者など、支援を必要とする人々が、その人らしく安心して暮らせるまちを目指します。 |

| 分野 | 現状、問題と課題 【第2回より】 再確認 | 今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】 | | 目指すべき姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】 | | 関連する施策 |
|-------|--|--|---|---|-------------------|--------|
| | | 【目指すべき姿】 | 【なぜ、そう思ったか】 | 【誰が】 | 【何をする(取り組みのアイデア)】 | |
| 高齢者福祉 | 高齢者の再就職 高齢者の健康維持(フレイル予防など) 道路のバリアフリー化 高齢者の二分化(地域活動に参加できる人とそうでない人) 各個人の支援の充実 要支援・要介護になってからでないとサポートがない 単身・独居の見守り 施設に入れない人の地域の受け入れ 高齢者の安否確認 高齢者(単身)の孤立(人とのつながり) 宅配弁当が美味しくない 単身の元気な人の支援 独居老人の増加 高齢者の二分化(地域活動に参加できる人とそうでない人) ・施設・人手不足 | ・高齢者誰もが気軽に参加できるコミュニティの形成 (コミュニティの形成 = 見守り体制) | ・高齢者(生活困窮)の方に対する支援が現状足りない? ・コミュニティ活動に参加できていない高齢者が多いと思われ、そのうち参加したいと思っている人がいる。(高齢者活動調査) 既存のコミュニティに入っていくづらいのでは。 ・今活動していない人が活動したいと思えるような ・元気体操、町会に加入していないと実施づらい。 ・ <u>コミュニティへの参加の敷居が高い</u> ・市内に公園は多い。 | ・参加するみんなが「初めまして」の高齢者のコミュニティ活動 ・さいたま市は無料のチケットを配布して美術館などに無料で入れる。 ・高齢者が使える朝ごはんチケット ・昔は「ふれあい銭湯」という取組があった。風呂以外にもご飯を食べたり。 ・ 曜日を限定して初めての方が参加できるような仕組み ・リズム体操(社協) ・元気体操(市) ・初めての方を含めて40人くらいでゲームをしたり(笹目北町会館)。見るだけでもOK 次につながる ・高齢者が集まれる場所が色々な所に必要 ・ 近くの公園で歩けるような環境、イベントがあると良い。 (・町会に頼りすぎない活動。町会活動者が減ってしまう。) ・ 関連活動をしているボランティア、民間団体、若い人たち、を行政がつなげる仕組み。 ・徘徊や、急病の高齢者を救う取組。体に付ける警報器、住宅ガス化 ・独居の方に対するケア(配布物が取られてなかったら要チェック)。見守りサポート | 施策11 | |

| | | | | | |
|------------------|--|--|---|---|----------------------|
| <p>社会保障</p> | <p>50、60代の独居増 高齢者の再就職 就労が続くような支援 外国人への社会保障 社会保障費増</p> <p>・企業全社が厚生年金に入る ・厚生年金に入っていなかった方の生活が苦しい ・社会保険料</p> | <p>・多様な働き方を受け入れる環境づくりが整っている状態</p> | <p>・国保・後期は国が主導（市が手を出しにくい） ・就労支援、年代限らず行う必要有り。 ・就職しても定着しないケースが多い。 就職先の就職支援を受けて来た人に対する理解が少ないケースがあることも理由のひとつ。そこに対するアプローチ、働きやすい環境を作ることも必要。 ・本人だけでなく回りで支える環境が重要。 ・働くと年金がカットされることが、就労の抑制になっている？仕組みが難しく、知らない人が多い。</p> | <p>・年金に関する正しい情報を提供する。 ・年金などに関する講座を開催する。 ・企業側が、従業員にボランティアをしてよい時間を設けるなど、支える仕組みをつくる</p> | <p>施策12 施策13</p> |
| <p>障がい者（児）福祉</p> | <p>障害者施設の受け入れ態勢が整わない 親亡き後の生活（近隣・近郊に入所施設なし） 施設・人手不足 預かり施設の時間が短い</p> <p>・保育士加配 人手不足でつけられない ・移動しやすい道・歩道 ・就労支援</p> | <p>・障害者と健常者がともに自分らしく生きられるまち （・福祉の言葉がない世界） （自立を望めない障害の方もいる）</p> | <p>・施設が足りない。 ・施設の人手不足、職員のスキル不足がある。職員の経験、人間力が必要。低賃金のイメージ。 ・施設職員のスキルが身に付くまでに退職してしまうケースがある。 ・結果的に、受入れ体制が整わず、必要な支援を提供できないケースがある。 ・保護者の方の気持ち強い（職員に対するリクエスト多い） ・施設の利用可能時間が短い ・障害を持った方は必ずしも支援を求めているわけではない ・かわいそうと思う時点で、下に見ている。それを個性と思わないといけない。</p> | <p>・施設職員の人材育成（国、県の研修はある。） ・市が施設に対して金銭面のサポート ・当たり前のような生活できる仕組みづくり ・みんなの障害者に対する意識を変える必要がある。 ・自然と一緒にいれる状態をつくる。（就労etc） ・ふるさと祭りなど、一般的なイベントに障害をもった方がいる空間をつくる。みんなの意識が変わる。 障害者がいることが当たり前の状態をつくる</p> | <p>施策14</p> |

| | | | |
|----------|---|----------|---|
| 分科会【C】 | テーマ：市街地整備・景観、住宅、上下水道、公共交通、道路 「道路」は、基本目標 | | |
| 基本目標 | 快適に過ごせる生活基盤が整備されたまち | 基本目標 | 安全な暮らしを守るまち |
| 基本目標のゴール | 都市基盤の整備を推進するとともに、景観の調和やライフラインの整備、公共交通の更なる利便性の向上などにより、 <u>市民生活の快適性の確保を目指します。</u> | 基本目標のゴール | 市民・地域・行政の役割分担と協働のもと、地震や水害などに対する備えや、消防・救急体制を充実・強化することで、 <u>災害等に対し強靱な地域づくりを目指します。</u> また、犯罪や消費生活トラブルをなくすために、市民の意識高揚と警察等の関係主体との連携を図るとともに、安全な道路環境の整備を推進することにより交通事故を防ぎ、 <u>市民が安心して、安全に暮らせるまちを目指します。</u> |

| 分野 | 現状、問題と課題 【第2回より】 再確認 | 今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】 | | 目指すべき姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】 | | 関連する施策 |
|----------|---|---|---|--|---|--------|
| | | 【目指すべき姿】 | 【なぜ、そう思ったか】 | 【誰が】 | 【何をやる(取り組みのアイデア)】 | |
| 市街地整備・景観 | <p>新曽地区整理が終わっていないため、景観が良くない</p> <p>新曽南地域の街灯が暗い</p> <p>地域間格差（新曽地区、戸田公園東口、戸田東口）整備の遅れ</p> <p>戸田公園駅の西口と東口の景観が違う（戸田駅）- 戸田公園 - JR 脇道路が暗くて歩けない</p> <p>駅周辺が整備されてにぎわいがある</p> <p>・区画整理事業の促進（行き止まりの道の施工等） 追加</p> | <p>・新曽区画整理進展 5年後完了は厳しい進展の情報共有（<u>終了が見えない 市から積極的に終わる見通しの説明責任を果たす</u>）</p> <p>発信方法：広報、それ以外は、YouTube(SNS) 情報発信</p> <p>・安心して暮らせる状態 街灯がなく、くらい。区画整理未整備くらい。</p> <p>駅を中心とした賑わいと活気ある街に。市内で差のない景観がある状態</p> <p>・安心して暮らせる活気のある明るいまちづくり</p> <p>「明るい」には、「活気のある賑やかな明るさ」と「まちづくりが進むことによる街の明るさ（街灯やひらけた道路等）」の2つの意味が掛かっている。</p> | <p>・市民に進展が分かるように。現状だと、年2回の区画整理ニュースの冊子しか進展が分かるものが無く、先が長いことは把握しているので、<u>今以上に都度進捗が知れるような仕組み</u>があると嬉しいため。</p> <p>・区画整理事業の進捗が遅いことにより、安心して暮らせるというところに不安がある。（<u>街灯がなかったり、防犯上の心配（老朽化建物等）</u>）</p> | <p>・行政</p> <p>・施工業者</p> <p>・行政市民（団体）の協働</p> | <p>・SNS 等活用（区画整理の事、まちづくりを市の広報として取り上げていく）</p> <p>・QR 読み取り等、工事看板等（まちづくりの情報がタイムリーに見られるように）</p> <p>まちづくりの様子をリアルタイムで確認できるように。（区画整理施工の他に整備の状況等が分かるような情報を入手できるように。）</p> <p>・戸田駅西口駅前のイベント実施、賑わいの創出 綺麗な駅前の有効活用（北戸田も何か！）</p> | 施策 2 1 |
| 住宅 | <p>マンションが多い(駅周辺)</p> <p>ワンルームマンションの増加(周辺環境の悪化の心配...)</p> <p>マンションの老朽化対応(管理の悪いマンションやアパートの対応)</p> <p>・市営住宅の高齢化。住民自治の限界</p> <p>・駅直結の施設・住宅が無い 駅周辺は整備されてきた</p> <p>・空き家(管理不全)の実態</p> | <p>・老朽化対策 適正管理と資産価値向上を目指す。</p> <p>・マンション整備 景観 居住性 防災防犯に合わせた整備が必要</p> <p>マンション管理に市が関与できるような仕組みづくり（条例等）</p> <p>・空家をコミュニティの拠点にしたり（市の補助や仕組みづくり）</p> | <p>・資産価値下がり、<u>行政のみならず、お住まいの方を含めて管理等、価値を維持</u>いただく。</p> <p>・防災等に備えた一定のルールも必要。<u>市が関われる部分を見つける(管理組合管理等手の届かない部分も多い) 必要がある。</u></p> <p><u>マンション独自の管理だととどりに着かない部分もあるため。</u></p> <p>・コミュニティをつくる。</p> | <p>・市民(管理組合)</p> <p>・行政市民</p> <p>・行政</p> | <p>・マンション共用スペースの有効活用等 仕組みづくりは一部市でも介入する余地を検討する必要あり。</p> <p>・【管理状態の適正化推進事業】</p> <p>マンション管理のメルマガ周知（管理状況等 今やってる）</p> <p>マンション管理士の相談会の活用（今やってる）</p> <p>上記の積極的な周知（情報を入手できる少ない手段）</p> <p>・築年数一定経過で、指導等、行政の介入も一部検討（管理度合いの指標等が分かるような感じでのデータベース化 指導等）</p> | 施策 2 2 |

| | | | | | | |
|------|--|---|--|--|---|------|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ワンルームマンション増加 <u>ファミリー層とどう一緒にコミュニティ</u> <u>多様な世帯の快適性</u>につなげるか。(共用スペース確保) 管理していくうえで、管理会社による管理等、管理度合いがまちまち。 <u>マンションや一戸建て住宅等においても安心して暮らし続けられるまち</u> | <ul style="list-style-type: none"> <u>多様な世帯の快適性(コミュニティを作りながら)を作る必要がある。</u> マンションデータベース化管理で早めの行政対応もできればよし。(民間の部分との線引き)可視化して管理していきたい。(今後建つのも考慮) | <ul style="list-style-type: none"> 住民 | <ul style="list-style-type: none"> マンションに住んでいる方でのイベント実施等(コミュニティ強化) | |
| 上下水道 | <ul style="list-style-type: none"> 水道料金が安い(他自治体と比べて) 新曽地域の下水道整備 | <ul style="list-style-type: none"> (道路に入る可能性) 冠水ハザードマップ 冠水浸水地域を明記 冠水対応を早く <u>下水未整備地区あるので、まずは100%を目指す。</u> 水道のおいしさ <u>上下水道が100%完備されたまち</u> | <ul style="list-style-type: none"> 側溝のグレーチング数が少ない。(道路管理)水はけ悪い <u>快適性の追求(下水が整備されている状態は、当たり前)</u> おいしさアピール。戸田市の水来販売中(地下)であることから。 | <ul style="list-style-type: none"> 行政 行政 | <ul style="list-style-type: none"> 下水整備100%を目指した施工 計画的な維持管理(料金上昇しないよう) | 施策23 |
| 公共交通 | <ul style="list-style-type: none"> 美笹地区の交通の便が悪い(店がない、トコバスの本数) 路線バスの維持 バス路線の減少。 トコバスの利便性(美笹)の見直し要 東西のアクセスが良くない トコバス美笹循環の利便性の向上 新しい公共交通の導入。AI、オンデマンドバス等 JR ホームドアの設置(人身事故の多さ) | <ul style="list-style-type: none"> 市内全域だと路線廃止予想される。<u>利便性維持</u>のための現路線の運用補助等を行ってでも守るべき(需要あるため。) <u>新たな公共交通の導入の具体的検討</u> ライドシェア等、バスに代わるもの。厳しければ、タクシー等既存のものを使うための補助等 地域格差(バイパス西側) <u>誰もが利用しやすい公共交通が維持されたまち</u> | <ul style="list-style-type: none"> <u>路線維持は、市民の利便性</u> 運転手不足(路線効率) <u>交通の利便性は保つべき。(既存タクシー等への補助か新たな手段かは要検討)</u> 移動利便性の具体的手段の検討(地域性も考慮し。) バス運転手不足等への今後の展望を先取りして考える。 | <ul style="list-style-type: none"> 行政 市民 市民 行政 行政 | <ul style="list-style-type: none"> <u>新たな公共交通手段の導入(AI 観光地のものを一部参考にしながら)</u> 一部地域での実証実験等で効果測定を行い、実装していく。 官民連携の仕組み(市内企業に協力を募る等) <u>ライドシェア 情報の連携等(どこで誰が欲しているかがすぐ仕組みづくり)</u> 人数不足に悩むバス運転手等への待遇改善(大型二種の免許補助等) | 施策24 |

| | | | | | |
|-----------|---|---|--|---|-------------|
| <p>道路</p> | <p>冠水する箇所がいくつかある 一部地域の冠水 市道のアスファルトの整備</p> <p>歩道が狭い。見づらい(植樹帯が必要?) 歩道の狭さ。自転車道路を使わないマナーの悪さ 植樹帯の管理。剪定の頻度を増やす必要がある バリアフリーにならない道路・歩道 戸田駅 市役所の道路景観が悪い。街路樹や植木がなく、日陰なし</p> | <p>・道路段差等、障壁になる部分の解消 (<u>歩行者ファースト</u>)</p> <p>・植栽の綺麗なまち</p> <p>・<u>安心して歩ける</u>。休憩できる部分もある。 駅から市役所が見栄えの良くなるような道路だと嬉しい。 歩いて楽しい町!(楽しく立ち止まるような仕組みづくり等)</p> <p>・災害に強く通行しやすい道路</p> <p>・歩行者に優しい道路</p> | <p>・<u>歩行者安全性ファースト</u>が大切(まず守るべきは歩行者)</p> <p>・伸びると歩行者自転車の邪魔。<u>(雑草等駆除をしきりに行う。)</u></p> <p>・駅から市役所を街のシンボルに</p> <p>・冠水の無く、災害に強い状態を実現すべき。 災害時の通行主要道路等確保</p> <p>・歩行者を主役にする、<u>配慮すべき部分も多く、まちづくり(道路築造)がきめ細くなる。</u> 歩行者から、全て考えていく。 駅前も<u>バリアフリー等全ての歩行者に</u>という観点での整備が<u>住み続けられるまちづくり(道路築造)に繋がる。</u></p> | <p>・行政</p> <p>・行政</p> <p>・行政 市民</p> <p>・行政</p> <p>・歩道整備において、<u>歩行者ファースト</u>の考えを入れる。</p> <p>・植栽の剪定等、<u>市民の協力を仰ぎながら、地域全体を整えていく。(市民の皆様も含めた剪定等・地域企業にみ協力仰ぐ)</u></p> <p>・トレードマークを作る。(歩いて楽しいまち) 景観を楽しみながら愛着を持ってもらう。 AI等、新規技術の活用等</p> <p>・皆様の宅地における<u>貯水槽の設置</u>により、<u>宅地で水を吸ってもらう。</u> ・雨水貯留管の整備を積極的に(都市公園・学校地下等に)</p> | <p>施策20</p> |
|-----------|---|---|--|---|-------------|

| | |
|----------|---|
| 分科会【C】 | テーマ :生涯学習、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション |
| 基本目標 | 創造性や豊かな心を育むまち |
| 基本目標のゴール | 市民が、生きがいづくりやまちづくりへ参画するために、生涯にわたって学び合える環境を構築するとともに、文化・スポーツ活動を通じて文化の創造・継承やスポーツに触れることで、 <u>人生100年時代を心豊かに過ごせるまち</u> を目指します。 |

| 分野 | 現状、問題と課題 【第2回より】再確認 | 今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】 | | 目指すべき姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】 | | 関連する施策 | |
|-------|--|---|--|--|---|--------|-----|
| | | 【目指すべき姿】 | 【なぜ、そう思ったか】 | 【誰が】 | 【何を(取り組みのアイデア)】 | | |
| 生涯学習 | <p>若年層の参加促進。リカレント、リスキリング...</p> <p>市民大学(特に大学提携講座)は平日昼間で、現役世代が参加できない</p> <p>生涯学習のバリエーションが増えてきている</p> <p>学校教育と比べ、生涯学習のICTの進み方が遅い</p> <p>生涯学習サイトの充実 広報 生涯学習が弱い</p> <p>・公民館が老朽化(あいパルと他公民館の格差)</p> | <p>・誰もが(高齢者に限らず、小中学生等も皆関われる!)市民大学等の講座を受講しつつ、生涯学習の機会がある状態</p> <p>多世代ニーズに対応できるよう生涯学習のイメージを変え、皆が参加したい講座等があるまち</p> <p>・講座バリエーション 講座のイメージを楽しいものにしていく。</p> <p>・学ぶ場の創出(施設老朽化対応 新しいやすい場所)</p> <p>・多世代ニーズに対応できる講座等</p> | <p>・平日昼間の講座開催等が多く、社会人や学生には学びにくい。</p> <p>・生涯学習の単語が分かりにくく、周知の工夫が必要</p> <p>・楽しいもの身近なものに親しんでもらえるように。(皆が楽しめる講座が必要)</p> <p>・ICT活用不足(オンライン配信等)</p> <p>・どうしても高齢者の方が参加するイメージが大きい。</p> <p>・時間をかけて参加いただくので、メリットとの天秤が大切</p> | 行政 | <p>・土日夜間の講座開講</p> <p>・講座数少ない(バリエーションを多世代向けに増やしていく。)</p> <p>・施設更新(老朽化対応)</p> <p>・仕事に活かせる講座の開設(誰もが親しめる生涯学習の)</p> <p>・オンライン配信の更なる拡大(2倍速等、短い時間でほしい情報得られる効率的な受講)</p> <p>・著名人へのアプローチ(大人に向けて教える場等もあると面白い!)</p> <p>インフルエンサーを使った情報拡大等で、皆に親しみやすい状態に</p> <p>・こちらでも道満活用も検討!(校外学習 彩湖等も)</p> | 市民 | 施策5 |
| 芸術・文化 | <p>バンド(ギターやドラム)演奏できる施設が無い</p> <p>バンド演奏できる機会もない</p> <p>市民が参加できる芸術イベントの開催</p> <p>芸術・文化のイメージがない</p> <p>文化・芸術祭(戸田マラソンのような)シンボリックな目玉がない。イベントがショボい</p> <p>文化会館の幅広い利用(市民が文化芸術に触れる機会がサークル系などに偏っている感じがする)</p> | <p>・文化に触れる機会を増やすための魅力的なイベントがある状態</p> <p>・文化芸術活動を行い、活躍できる機会の場がある状態</p> <p>・多世代の人が芸術文化を実感できる魅力的なイベントがあるまち</p> <p>・多世代の人が文化芸術を実感できる。</p> <p>・市民が参加しやすい(道満等使えるの情報拡散)</p> <p>・文化会館だけでなく、福祉センター等(芸術活動にも使えるように)文化の発信の拠点を各地区に作った状態。</p> <p>防音施設が完備した施設の状態</p> | <p>・魅力を感じるイベントが少なく、市民が興味を持つ目玉イベントが必要</p> <p>・団体によっては、活躍できる場所や時間が少なく、様々な団体が利用しやすい場所が必要</p> <p>・イメージが無い。機会が無い。</p> <p>演奏等する場所の提供(もっとたくさんの場所で!)</p> <p>イベント実施(身近に携われる)</p> <p>使う規模感(少人数でも)使えるように。</p> <p>・文化会館の一局集中を避ける。</p> <p>・身近に施設がある状態</p> | 行政 | <p>・道満を用いた野外フェス等、大きなイベント。</p> <p>戸田市の魅力も使えており、親しみ深いものになる。</p> <p>(参考:過去道満でレゲイベント開催)</p> <p>大きなイベントで、皆にも普及する。(芸術・文化)</p> <p>・道満の更なる活用(他分野で考えていく!!)</p> <p>・既存イベントへのテコ入れで、多世代が魅力を感じれるような仕組みづくり。(ニーズに合った場所が提供される状態)</p> <p>・福祉センター等(芸術活動にも使えるように)文化の発信の拠点を各地区に作った状態。</p> | 市民 | 施策6 |

| | | | | | | |
|----------------------|--|---|--|-------------------------------|--|------------|
| <p>スポーツ・レクリエーション</p> | <p>スポーツセンターの建替え ボートコース、彩湖の活用 スポーツセンターの老朽化 戸田ボートコース(固有資源)の有効活用、魅力発信 北部公園野球場で公式試合ができるように整備 道満の整備 質の高いスポーツを見るための誘致できる施設がない</p> <p>・オリンピック選手にスポーツ教室を開いて欲しい(定期的に) ・(ヤクルト)ロッテ他とコラボ、活性化</p> | <p>・ <u>戸田市独自のスポーツ・レクリエーション活動</u>について発信し、認知された状態</p> <p>・ 誰もがスポーツを楽しめる環境が常にある状態</p> <p>・ ボートの町にしたい(親しめるよう) スポーツを <u>最大限の魅力をアピールできる状態(ボートコースやプロスポーツ選手との交流がある状態)</u></p> <p>・ 色々な水辺のスポーツに触れてもらう。(ボートのみならず)</p> <p><u>スポーツを楽しめる環境整備の促進(スポーツセンターの最大限の活用)</u></p> <p><u>誰もがスポーツを楽しめるよう固有資源(施設・選手等)を活用できる状態が達成されたまち</u></p> | <p>・ 戸田市出身のオリンピック選手がいる一方、魅力として認知されていない。</p> <p>・</p> <p>・ 全国的にもある資源を生かしている。 戸田はボートを有効活用もっとしたい!(ボートコースあるのがすごい!) もっと生かしたい。</p> <p>・ <u>スポーツの拠点スポーツセンターをうまく活用していく。</u> <u>(見る・行う人がみな楽しめるまち)</u></p> | <p>行政</p> <p>市民</p> <p>議会</p> | <p>ボート教室・ラグビー等(プロに教えてもらう) 皆にとって、スポーツに親しめる機会! 認知度を上げていく。(魅力のアピール手法) できるスポーツ等も知られていないのもあるので、周知!</p> <p>色々な水辺のスポーツに触れてもらう。</p> <p>戸田公園駅の近くに、ボートを更にアピールするモニュメントみたいのがあると実感わく!魅力創出</p> <p>・ オリンピアン¹のスポーツ教室等も使い、スポーツに触れてもらいながら、皆にとってスポーツを楽しめるものにする <u>(戸田ヤクルトレビズ・メディクスとの交流事業等!)</u></p> <p>プロスポーツのエキシビジョンマッチ等も興味が湧く手法 スポーツセンター観覧席の設置等</p> <p>施設利用料の見直し</p> <p>資源(施設・選手や協力団体等含め)を把握いただき、積極的に活用いただく。</p> | <p>施策7</p> |
|----------------------|--|---|--|-------------------------------|--|------------|

| | |
|----------|---|
| 分科会[D] | テーマ : 緑地・緑化・水辺、公園、地球環境保全、廃棄物・リサイクル |
| 基本目標 | 都市環境と自然環境が調和したまち |
| 基本目標のゴール | 戸田市が持つ都市の利便性と豊かな自然を活かしながら、市民の環境に対する意識高揚と自主的な取り組みを促すことや、快適な生活環境を創出することで、調和のとれた持続可能なまちを目指します。 |

| 分野 | 現状、問題と課題 【第2回より】再確認 | 今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】 | | 目指すべき姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】 | | 関連する施策 |
|----------|--|---|--|---|---|--------|
| | | 【目指すべき姿】 | 【なぜ、そう思ったか】 | 【誰が】 | 【何をする(取り組みのアイデア)】 | |
| 緑地・緑化・水辺 | <p>戸田市を印象づける。好感度を上げる。 花と緑の環境づくりを。もっと進める！ 落ち葉が多すぎて掃除しきれいでなく、管理外のところもやっけていて大変という意見 (緑化)季節の花を感じられるように 害虫対策 緑地 多いと思う。減少を止めてほしい。 外来種(植物・生物)が増えてきている 緑化 個人的に費用がかかる 他の地域と比べて「蚊」が多すぎる気がする(駆除してほしいです)</p> <p>・川岸の川にある土手の景観が悪い(土のうが積まれている) ・水辺の美しさ、歩く楽しみ手を入れよう！ ・(水辺)コンクリート護岸で親しみづらい</p> | <p>・花の名所にあふれたまち ・花が身近にあることで快適な生活環境 ・サクラソウを中心に身近に感じられるまち ・ ・自生している草原など、もとある自然を守る、秋ヶ瀬などのように</p> | <p>・市の花(サクラソウ)やキンモクセイなど、新たな観光名所のようなものになってほしい。 ・選ばれるまちになっていく。 ・どれだけ認知されているのか。サクラソウプロジェクトがあるが、道満の話になっている。街中で行えれば、市全体で名所にもなる。 ・取組が市民に知られていない。</p> | <p>市民 市民 市民・行政 行政 行政</p> | <p>・若者の力を使って、全国にPRしていく。 ・咲く時期の花をプランターに植えていく。 ・ベランダガーデンや荒川河川敷を活用した取組 ・環境空間の活用 ・ゆるキャラの活用(とだみちゃん)で、こどもに緑地の教育をしていく。</p> | 施策25 |
| 公園 | <p>各公園にテーマがあると良い (公園)もっといろんな公園でイベントがあってもいいのでは？ 公園についての関心が高い 再整備が進んでいることを知ることが市民の満足UPにつながる。もっとPRを！</p> <p>・彩湖はとても良い！ ・(公園)利用に当たって制限が多い(犬の散歩・ボール) ・公園は各町会にあっていいと思う ・(公園)水回りを使いやすく</p> | <p>・「わが公園」とおもえる公園にあふれる</p> | <p>・自分たちの公園という意識をもち、愛着をもってほしい。</p> | <p>・各公園などにネーミングライツを活用して、愛着を ・計画に市民も入って、愛着をもってもらおう。 ・ゴミを捨てないと思える仕組みを取り入れる。 ・スポーツゴミ拾い(ゴミにポイントを付け)</p> | 施策26 | |

| | | | | | | |
|------------------|--|--|--|-------------------------------|--|--------------|
| <p>地球環境保全</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市民の環境意識の向上（リスク含む） 再エネの議論を深める 太陽光パネルのリスクを示す必要がある ・地球環境保全 テーマが大きすぎて、国や市がオススメすることはやるけど、そのほかについて何をやれば、今ひとつわからないのかも ・(環境)CO2 削減効果は？ ・落ち葉の再利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ生活を目指していく ・緑化、リサイクルの視点を入れた環境保全を目指す ・環境保全先進都市を目指していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・CO2 削減といっても分かりにくい。 ・省エネで電気代などが減ったと実感しないと ・緑地やリサイクルなどの環境に関する取組みを複合的に進めた結果、環境保全につながるため ・結果的に人と人とのつながりにつながっていく | <p>行政</p> <p>市民</p> <p>市民</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市の取り組みとして、民間が象徴的な取組をしていく活動を市がバックアップしてほしい。 ・環境に良い洗剤などを使っていく。戸田市オリジナル石鹸など、排水に関する意識を植え付けていく。その結果、市の名産品などにも ・著名人などが環境フェアなどを定期的開催し意識付けする | <p>施策 27</p> |
| <p>廃棄物・リサイクル</p> | <p>ゴミの出し方が少し良いかな</p> <p>ゴミ出しルールの周知をもっと</p> <p>地域によってゴミ出しのマナーが様々。もう少し周知すべき</p> <p>市民のごみ出しマナー(分別されていない、ネットをかけないことによるカラスの被害)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ回収に関する不満の声が多い。「身近なところをキレイにしたい思いが強い」というコト。その声に応えなきゃ！ ・ゴミステーションの不公平！ ・燃やすゴミの徹底化 ・紙。字を使って資源回収を ・廃棄物 粗大ゴミ券の名称を変えてもらいたい ・資源リサイクルチケットに | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが散乱しないまち ・リサイクルが楽しくなるまち | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人へのルールの周知 ・カラス対策が必要である ・地域ごとに必要な方法を考えていく必要がある。 ・ゴミが落ちていたら、気付いた人が拾うという意識づくり ・ゴミの分別に対する意識を高めていく必要がある。 | <p>行政</p> <p>行政</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出しルールの周知と、市へ汚い場所を情報提供してもらい、重点的に行っていく。 ・分かりにくいので、その地域ごとのゴミだしルールのチラシなどの工夫が必要 ・ゴミがどのように変わっていくかを見える化し分別の意識を高めていく。 | <p>施策 28</p> |

| | |
|----------|--|
| 分科会[D] | テーマ : 起業・就労支援、産業振興、観光振興、協働・交流 |
| 基本目標 | 活力にあふれ人が集い心ふれあうまち |
| 基本目標のゴール | 多様な働き方の実現や市内経済を支える産業の振興、町会、ボランティアなどの団体に対する活動の促進などにより、「まちの活力」の創出を目指します。 また、地域資源を活かした観光の取り組みを通じて、賑わいの創出を目指すことや、国内外の地域住民の交流を促進することで、人が集まり、心ふれあうまちを目指します。 |

| 分野 | 現状、問題と課題 【第2回より】再確認 | 今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】 | | 目指すべき姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】 | | 関連する施策 |
|---------|---|---|---|---|---|--------|
| | | 【目指すべき姿】 | 【なぜ、そう思ったか】 | 【誰が】 | 【何をする(取り組みのアイデア)】 | |
| | | | | | | |
| 起業・就労支援 | <p>弱い立場の人を助ける仕事を応援する 働けない人(引きこもり、障害者等)への支援</p> <p>起業家 ソーシャルビジネス、コミュニティービジネス起業家育成 (起業)身近なテーマになっていない</p> <p>・そもそもベッドタウン、寝るだけ。仕事場ではない?(逆もあり)</p> <p>・企業側からすると、障害者の雇用の難しさがある。</p> <p>・障害者への差別、どう接したらよいか分からない人が多い</p> <p>・起業する人が少ない(昔に比べると)</p> | <p>・障がいのある方や働くことにハードルがある方が安心して働き続けることができる</p> <p>・起業が身近な選択肢、市内で起業したいと思える状態</p> <p>・起業家が起業家を呼んできたくなるような状態</p> <p>・働きたくても働けない人が仕事を見つけれれる(企業とのマッチング)</p> | <p>・障害者等の定着率の低さ(50%程度)</p> <p>・障害者の雇用の難しさ(企業目線)</p> <p>・どのように接したらよいか分からない人が多い</p> <p>・イノベーションが生まれやすい</p> <p>・にぎわってくると経済の活性化につながる</p> | <p>行政 市民</p> <p>行政</p> <p>行政 市民</p> <p>行政</p> | <p>障害者雇用に関する支援内容、補助制度などの周知 情報収集</p> <p>起業する人への心を後押しするような支援、きめ細やかな相談窓口の充実</p> <p>商工会などから定期的なアイデア出し、行政はそれを後押しするような支援、仕組み</p> <p>市内外に対して仕事をあっせんするような仕組み作り 役所の課題解決をするためのベンチャー企業を育てていく()</p> | 施策29 |
| 産業振興 | <p>産業振興について「産業全体」への声が少ない 戸田市の産業についてまだよく知らない!</p> <p>戸田市の工業のスゴさをもっと知って! 戸田の名産品があまりない ふるさと納税を盛り上げる 優良推奨品</p> <p>買い物への関心は高い 機会を求めている 新しいものとの出会いの場がほしい!というコト</p> <p>買い物環境、医療施設など、市内に「地域格差」がまだある! (産業)地域によって商業施設がない、遠い。</p> <p>・空いている土地に企業を誘致したらどうかという意見</p> <p>・街灯が全くない道が多々ある。安全面が懸念される</p> <p>・個人商店の2代目、3代目の進め方の失敗</p> | <p>・地産地消(戸田市で作ったものを戸田市で消費していく(いろいろな分野で))</p> <p>市民一人ひとりがシビックプライドをもっていくことで市に関心をもつ状態</p> <p>ふるさと納税を通じて、戸田市の魅力を伝えていく</p> | <p>地元ほど市内に関心がない?</p> <p>市内の循環で経済を活性化できるのではないか。(コロナ禍は市内店舗の売り上げがよかった)</p> <p>市民の地域愛を高めるには?</p> <p>ベットタウンで寝に帰る生活、近所とつながり減少</p> <p>市が一方向的に発信しても限界がある(広報がたくさん捨てられていることも)</p> <p>ふるさと納税の寄付額は増えている</p> | <p>行政</p> <p>行政</p> <p>市民</p> | <p>戸田市の水(戸田の未来)も地産地消のものとして、周知する</p> <p>市役所内のスペースで市の名産品を展示する。 市の場所を活用した広告(役所を有効活用)</p> <p>工業製品の展示や商品の販売</p> <p>市内の企業や行政が中心となって推進していく必要がある。 商工会などからアイデアを募って、行政が商品化へ支援する (アイデアコンテストなどは毎年恒例イベントにする) ふるさと納税返礼品にも活用</p> | 施策30 |

| | | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|--|---------------|
| <p>観光振興</p> | <p>競艇場のイメージしか持たれていない。他のアピールもすべきでは 観光 戸田市の知名度が低い 市外へのアピール 他市に比べて治安がいいことをアピールすべきでは 花火以外にも！ 観光 戸田市を印象づけるものをもっとほしい！ 戸田市の存在感が薄まっている気がする（市外からの印象）。もっと市のアピールをするべきでは 笹目神社さん 頑張ってます 神社・寺の活用</p> <p>・ポートコースも PR ・彩湖・道満グリーンパーク～荒川、戸田ポートコース 水の緑のラインを充実させよう ・地域資源の掘り起こし 寺社等歴史の見直し ・行政はインフルエンサーを使った PR が弱い</p> | <p>・市の魅力を再発見し市内外の人に認知され、様々な人に市の魅力となる地域資源が活用された状態</p> <p>・彩湖道満など、水と緑、自然を求めて、都内から訪れたいくなるような新たな観光地を作っていく インバウンドも狙える</p> <p>イベントを定着させる</p> | <p>・道満や花火以外にも、魅力があっても認知や活用がされていない。</p> <p>戸田市がどこまで観光に力を入れていきたいのか？ 水と緑が豊かな戸田市を広く知ってもらう 春は桜、花が咲く綺麗な場所 ・BBQ が無料でできる公園はなかなかない（貴重）</p> <p>1回だけのイベントが多い</p> | <p>行政 行政 行政 市民 行政</p> | <p>・ソロキャンプのメッカとなるよう場所や彩湖道満で「TODA ロック」ができるような場所としても活用できるのでは？</p> <p>渚の交番プロジェクト 広報に力をいれていく。 市の総合的な PR を行う組織に予算を付けて、重点的に情報発信をしていく。 インフルエンサーの活用など、ただ発信するだけでなく、戦略的に発信していく。（産業、経済、観光など広い分野）</p> <p>市民に広く知られるように恒例化させる</p> | <p>施策 3 1</p> |
| <p>協働・交流</p> | <p>外国人への和文化教育を！和文化共生（協働）外国人が増えているが、多文化共生は進んでいる？ 「人間関係の希薄化」の不安 交流の場・機会づくりが重要 （高齢者の方から）孤独感、漠然とした不安があるという意見。地域の横のつながりが減っていているのではないか 自助 共助 公助 近助 （協働）町会加入者減 自治会に加入する人が年々減っている。会長の高齢化</p> <p>・市民主体のイベント増 戸田市の特徴 これを応援！支援！ ・ソーシャルビジネス、コミュニティービジネスの積極活用</p> | <p>・外国人の横つながりを増やしていく</p> <p>・外に出るための施策を進めていくことで、人とのつながりを増やしていく。 ・孤立してしまう高齢者につながる ・高齢者（功労者）の知恵と経験を活用していく。</p> <p>あいさつの習慣を 学校を基盤としたコミュニティー作り</p> | <p>川口市のような状況ならないように 軽犯罪が多い笹目、美女木、喜沢地区は、外国人も多いが関連性は？</p> <p>高齢者向けイベントをやっているが知らない人が多い。 高齢者と外国人が増えていく、高齢者の知恵を活用し、外国人にも日本の文化、生活様式をしってもらう必要がある。</p> <p>日本人、外国人に関わらず、あいさつすることで、顔見知りになり、自然と関係性が構築される。 多様性につながる。</p> | <p>行政 行政</p> | <p>国際交流協会の活用、周知 （転入時に、窓口で国際交流協会を周知してもらうなど）</p> <p>市からの発信（広報など）を多言語で行う 情報発信方法を統一（市カレンダー、SNS、広報など） 1つの課が総合的に行う</p> <p>高齢者（功労者）と外国人のマッチング</p> | <p>施策 3 2</p> |

第3回協働会議のテーマに関するアンケート募集結果（募集期間：R6.11.21～12.2）

回答者の回答内容をそのまま、掲載しております。

| No | Q:回答者 | 該当する分野を選択してください。 | 選んだ分野において、『市民』が中心に行う「目指すべき姿を実現するための取組」があれば、記入してください。 | 選んだ分野において、『議会』が中心に行う「目指すべき姿を実現するための取組」があれば、記入してください。 | 選んだ分野において、『行政』が中心に行う「目指すべき姿を実現するための取組」があれば、記入してください。 |
|----|-------|------------------|---|--|---|
| 1 | 戸田市在住 | 分科会C：公共交通 | <p>路線バスの一部路線の廃止や一部路線バスの終バスの時間が21時台なのは少し早いような気がします。</p> <p>戸田公園駅からイオンモール北戸田へのシャトルバスも廃止されてしまい、車が無い家庭は季節によっては物凄い不便で危険です。</p> <p>市とバス会社で市民の足を守る為の協議が必要だと思います。</p> | <p>事業者への働きかけ 要望するだけでなくどのように解決していくかを議会でも解決策を積極的に話しあうべきだと思います。</p> | <p>事業者への働きかけは勿論ですが、要望するだけでなく、どのように解決するかを事業者と一緒に解決策、折衷案を模索してほしいです。</p> <p>又、インターネット等に慣れていない市民でも意見できるアンケートBOXを市内のスーパーや市内施設に設置できたら良いと思います。</p> |
| 2 | 戸田市在住 | 分科会C：市街地整備・景観 | | | <p>都市計画道路や公園計画など、市民が利用しやすい環境を早急に整えること</p> |
| 3 | 戸田市在住 | 分科会D：公園 | | | <p>戸田市スポーツセンター付近に予定されている公園の設置を早急に対応してください。</p> <p>この近辺はファミリー層が多く、子どもが安心して遊べる環境が少ないため公園は必要です。</p> |

第4回協働会議のテーマに関するアンケート募集結果（募集期間：R6.12.23～12.29）

回答者の回答内容をそのまま、掲載しております。

| No | Q:回答者 | 該当する分野を選択してください。 | 選んだ分野において、『市民』が中心に行う「目指すべき姿を実現するための取組」があれば、記入してください。 | 選んだ分野において、『議会』が中心に行う「目指すべき姿を実現するための取組」があれば、記入してください。 | 選んだ分野において、『行政』が中心に行う「目指すべき姿を実現するための取組」があれば、記入してください。 |
|----|-----------|------------------|--|--|--|
| 1 | 戸田市 在住 | 分科会A：消防・救急 | | | 新曽第二土地区整理事業内において、進捗の遅れから消防車等の緊急車両の出入りが困難な車道が多くみられる。行政は早急に道幅を確保し市民にとって安心する街づくりを進める必要がある。 |
| 2 | 戸田市 在住 | 分科会A：防犯 | | | 戸田市には警察署がなく、蕨警察頼りとなっているため、抑止力を高める意味でも行政から戸田警察署の設置を申し入れてください。 |
| 3 | 戸田市 在住 | 分科会A：防災 | | | 自然災害が万が一発生した際に避難できる施設や公園などが少ないと思います。 市民が普段から気軽に使用でき、もしもの時に活躍できる「場所」が必要です。 戸田市全体で用途不明な土地や一方通行や道幅のない車道などが多く見受けられます。 万が一に備えて、早急に市民が安心できる街を作ってください。 |
| 4 | 戸田市 在住 | 分科会A：防災 | | | 戸田市内においてガードレールが十分に設置されていない箇所が多い。 簡易的なパイプを設置しているが、万が一の事故に十分に力を発揮できるのか疑問である。 事故を防ぐ設備の設置・整備を行政としてとりかかすべき。 |
| 5 | 戸田市 在住 | 分科会D：観光振興 | | | 市の玄関口である戸田駅東口（市役所側）の廃れ具合をなんとかしないと観光云々の話ではないと思います。 北戸田駅はホームが高い駅として有名ですが、さいたま市の境にあるため、戸田市の力というよりさいたま市の力かなと、戸田駅・戸田公園駅と比べると感じます。 市として、駅に降り立つ人を受け入れることのできる環境を整備することが重要です。 |